

第32回 ツール・ド・北海道

TOUR DE HOKKAIDO

2018 9.7 FRI - 9.9 SUN



■主催/公益財団法人ツール・ド北海道協会、公益財団法人日本自転車競技連盟
 ■後援/国土交通省、スポーツ庁、経済産業省、北海道、北海道市長会、北海道町村会、公益財団法人JKA、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、一般財団法人日本自転車普及協会、一般社団法人自転車協会、NHK札幌放送局、北海道テレビ放送株式会社、北海道経済連合会、一般社団法人北海道商工会議所連合会、公益社団法人北海道観光振興機構、一般社団法人北海道建設業協会、一般社団法人北海道運輸事業協会、一般社団法人日本道路建設業協会北海道支部、北海道アスファルト会材協会、一般社団法人北海道バス協会、公益社団法人北海道トラック協会
 ■特別協力(予定)/北海道新聞社
 ■協力(予定)/北海道開発局、北海道経済産業局、旭川市、東神楽町、東川町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、新得町、帯広市、音更町、土幌町、上川町、北見市、訓子府町、置戸町、遠軽町、愛別町、当麻町、公益財団法人北海道体育協会、一般財団法人北海道交通安全協会、北海道自転車競技連盟、北海道自転車軽自動車商業協同組合、北海道自転車協会、北海道サイクリング協会、特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会
 ■お問い合わせ/公益財団法人ツール・ド北海道協会

TEL.011-222-5922

<http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>

《ステージレース》 総走行距離 約536km

▶第1ステージ(ロードレース) [185km] 9/7(金)

旭川市～東神楽町～東川町～美瑛町～上富良野町～中富良野町～富良野市～南富良野町～新得町

▶第2ステージ(ロードレース) [174km] 9/8(土)

帯広市～音更町～土幌町～上川町～北見市留辺蘂町

▶第3ステージ(ロードレース) [177km] 9/9(日)

北見市～訓子府町～置戸町～北見市留辺蘂町～遠軽町～上川町～愛別町～当麻町



ガイドブック GUIDE BOOK



競輪の補助事業

この大会は、競輪の補助を受けて実施します。
<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>

なめらかに、とろける口どけ
ロイズ 生チョコレート

ひと口食べた瞬間のしっとりとしたやわらかさ、なめらかさ。
豊かに広がっていくまるやかな余韻。
北海道の上質な生クリームが叶える、ロイズだけのおいしさを心ゆくまでお楽しみください。



ロイズ直営店

- 東苗穂店 ■札幌丸井今井店 ■札幌大丸店 ■福住店 ■厚別西店 ■あいの里公園店
- 屯田公園店 ■西宮の沢店 ■ふと美工場直売店 ■上江別店 ■新千歳空港店 ■イオンモール旭川駅前店
- チョコレートの楽しさがいっぱい! 「ロイズ チョコレートワールド」(新千歳空港ターミナルビル3階)

通販ご注文ダイヤル ☎0120-373-612 8:00~22:00 (日・祝含む) ※カタログのご請求も承ります(無料) インターネット www.royce.com





公益財団法人ツール・ド・北海道協会
会長 綿貫 民輔

Tour de Hokkaido Association
President
WATANUKI Tamisuke

ツール・ド・北海道大会は、1987年に日本初のステージレースとして開催されてから、回を重ね今年で32回目を迎えます。この間、多くの方のご理解とご支援のもと、国際大会として定着してきており、我が国を代表するサイクルードレースとして発展してまいりました。

本年のツール・ド・北海道2018は、道北・道東地域を舞台に、外国6チーム、国内15チームの計21チームを招請し、3日間のロードレースを開催する運びとなりました。

今年の大会は、大雪山系の麓を一周するアップダウンの厳しい山岳レースとなります。初日は、旭川市総合防災センター駐車場特設会場において開会式を行った後、第1ステージのロードレースを旭川市からスタートし、狩勝峠など3箇所のKOMを駆け抜け新得町でフィニッシュします。2日目の第2ステージは帯広競馬場をスタートした後、大雪山国立公園内の1,000m超の三国峠及び石北峠を走破し、北見市留辺蘂町でフィニッシュします。3日目の第3ステージは北見市民温水プール前をスタートし、今大会最後の峠となる北見峠を越え、当麻町とうまスポーツランドで最後のフィニッシュとなります。

選手の皆さんには、雄大な大雪山系の自然の中で、総走行距離536キロメートルに及ぶレースが白熱した展開になることを心から期待します。加えて、本大会がサイクルスポーツの振興、国民の健康増進、国際交流の促進、そして北海道の地域活性化に大きく寄与するものと確信する次第です。

結びに、本大会の開催に当たり、ご支援・ご協力を賜ります関係各位に心から感謝するとともに参加選手諸君の健闘を祈念いたします。

Tour de Hokkaido, with the support from many people, marks thirty second edition and has developed into the international cycle road race representing Japan.

"Tour de Hokkaido 2018" will be held with twenty one inviting teams both from home and abroad. The race consists of three road races over northern and eastern Hokkaido in three days.

This year's course covers the tough mountainous route around the bottom of Mt. Daisetsuzan range.

On the first day, after the opening ceremony at Asahikawa Disaster Prevention Center, Stage 1, the road race from Asahikawa City to Shintoku Town features three KOM including Karikachi Pass.

Stage 2 on the second day, starts from Obihiro Racecourse. The course features over-1,000m Mikuni Pass and Sekihoku Pass, the part of Daisetsuzan National Park and finishes at Rubeshibe-cho in Kitami City.

Stage 3 on the third day, starts in front of Public Swimming Pool in Kitami City featuring Kitami Pass and finishes at Toma Sportsland in Tohma Town.

I hope that the magnificent nature of Mt. Daisetsuzan range will help exciting race development for all the participants. In addition, I am firmly convinced that this competition will contribute significantly to the promotion of public health, international exchange and revitalization of socioeconomic activities in Hokkaido.

In closing, I would like to express my deepest appreciation to all people concerned for their support and cooperation in holding this competition, and I wish all the participants good luck.



公益財団法人日本自転車競技連盟
会長 橋本 聖子

Japan Cycling Federation
President
HASHIMOTO Seiko

このたびの「ツール・ド・北海道2018」の開催、主催の一端を担う者として、そして北海道を故郷に持つ者として誠に嬉しく、心強く思います。

今大会は、わが国におけるステージ・レースの草分けとして1987年に始まりました。私自身も、オリンピック・ソウル大会に出場する前年、この大会の第1日目4kmのタイムトライアルに参加したことがあり、鮮明な思い出として、今も心に残っています。その後、大会運営者と参加者双方の熱意と努力により、回を追うごとに着実に進歩され、華やかさを増してこられました。今や海外からも多くのチームが参加を希望し、評価の高いアジア有数の国際ステージ・レースに発展されたことを喜ばしく思います。

参加される各チームの競技者諸君の健闘を期待いたします。そして、ツール・ド・北海道を通じて、わが国の自転車競技発展に大きなチャンスを与えてくださいました関係各位に、心からの感謝と敬意を表し、挨拶いたします。

As one of the organizers and a native of Hokkaido, it brings me a great pleasure to have "Tour de Hokkaido 2018" held this year.

In 1987, Tour de Hokkaido, started as the pioneer of Japan's stage race. It is a pleasant memory that I took part in the first stage, 4-km individual time trial in the year before I participated in Seoul Olympics. I am pleased to note that Tour de Hokkaido has developed into one of the major international cycle stage races in Asia with many participants from home and abroad thanks to the dedication and effort made by both organize and participants.

I hope that every rider of all participating teams competes to the best of his ability. I would also like to express my sincerest appreciation and respect to the government ministries and agencies, local governments, organizations and those who concerned for continued support for cyclists and race fans in Japan throughout the history of Tour de Hokkaido.



北海道知事
高橋 はるみ

Governor of Hokkaido
TAKAHASHI Harumi

秋空の下、ツール・ド・北海道2018が盛大に開催されますことを喜び申し上げますとともに、国内外からお越しの皆様のご来道をご心から歓迎いたします。

本大会は、大自然の中を駆け巡る国内最大級の自転車ステージレースとして、本道における自転車競技の普及や振興に大きく貢献されるとともに、北海道の魅力を広く国内外にお伝えいただいております。

今年は、大雪山や十勝岳など勇壮な山々が連なる北海道の中央部を舞台としており、アップダウンの激しいコースを選手の皆様が目指す姿は、沿道で声援を送る方々に多くの勇気と感動を与えてくれることと思います。

選手の皆様には、優勝を目指して全力で走り抜られますとともに、仲間との交流を深め、お互いの健闘をたたえ合い、思い出に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと思っております。

結びに、大会の開催にご尽力された関係の皆様へ深く敬意を表しますとともに、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘を心からお祈り申し上げます、ごあいさついたします。

It is our great pleasure to have Tour de Hokkaido 2018 held here in Hokkaido under autumn sky, with participating athletes and officials both from home and abroad.

As one of the biggest cycle stage races in Japan, Tour de Hokkaido has been significantly contributing to promote the development of cycle race in Hokkaido through the exciting international road races, as well as appealing the Hokkaido's attraction.

The course of Tour de Hokkaido 2018 takes place covering the public road in central Hokkaido including valiant Mt. Daisetsuzan and Mt. Tokachidake. Riders' performance dealing with rough course and their team play aiming for the goal, will touch spectators' heart.

I hope that all the participants will fully demonstrate their skills to show their best performance aiming for the victory as well as deepening exchanges and encouraging each other, to make this opportunity memorable.

In closing, I would like to express my deepest appreciation to those concerned, for their efforts in holding this competition, and wish the great success.

人生を走ろう。

その走りのパフォーマンスは、
見える風景すら変えてしまう。
想像を超える走りが、新たな地図を広げていく。
どう走るかは、どう生きるかだ。



GT TOURER LEVORG

アイサイト・ツーリングアシスト搭載  アイサイト

LINEUP	1.6GT EyeSight	1.6ℓ DOHC 直噴ターボ“DIT” リアトラクション AWD (常時全輪駆動)	2,862,000円 (消費税8%込)	2.0GT-S EyeSight	2.0ℓ DOHC 直噴ターボ“DIT” スポーツリアトラクション AWD (常時全輪駆動)	3,618,000円 (消費税8%込)
	1.6GT EyeSight S-style	1.6ℓ DOHC 直噴ターボ“DIT” リアトラクション AWD (常時全輪駆動)	2,926,800円 (消費税8%込)	1.6STI Sport EyeSight	1.6ℓ DOHC 直噴ターボ“DIT” リアトラクション AWD (常時全輪駆動)	3,564,000円 (消費税8%込)
	1.6GT-S EyeSight	1.6ℓ DOHC 直噴ターボ“DIT” リアトラクション AWD (常時全輪駆動)	3,078,000円 (消費税8%込)	2.0STI Sport EyeSight	2.0ℓ DOHC 直噴ターボ“DIT” スポーツリアトラクション AWD (常時全輪駆動)	4,050,000円 (消費税8%込)

PHOTO:2.0STI Sport EyeSight ダークグレー・メタリック オプション装着車 写真はイメージです。●写真は印刷インクの性質上、実際の色とは異なって見えることがあります。●この仕様はお断りなく変更する場合があります。●詳細は店頭またはWEBでご確認ください。●価格にはオプションは含まれておりません。●記載価格はメーカー希望小売価格に消費税8%が含まれた総額表示です。●メーカー希望小売価格は参考価格です。販売価格は各販売店が独自に決めていますので、それぞれにお問い合わせください。●価格はタイヤパンク修理キットとタイヤ交換用工具を含む価格です。●リサイクル料金、税金(消費税を除く)、保険料、登録等に併う諸費用等は別途必要となります。●登録等に併う手続き代行費用については別途消費税が必要となります。●環境にやさしいエコドライブで、安全運転を。

⚠ ツーリングアシストは、高速道路や自動車専用道路でのドライブをより安全・快適に行っていただくための運転支援システムです。●ドライバーがステアリング操作している状態を判定し、システムが無操作状態と判断した場合には機能を停止します。●アイサイトのご使用について重要な注意事項が記載されておりますので、ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。●アイサイトの詳細は、販売店にお問い合わせください。

安心と愉しさを。SUBARU

Contents

[目次]

ごあいさつ

Greetings

大会賞典 1

Prize

大会主催・後援・協力・協賛 3

Organizers・Supporters・Cooperators・Sponsors

コースレイアウト 4

Course Layout

出場チーム紹介 6

Participating Teams

レースの基礎知識 12

Spectator's tip for enjoying race

チェックポイント 14

Check points

キャラバン編成表 15

Motorcade Formation for Tour de Hokkaido 2018

第1ステージ 17

Stage 1

第2ステージ 22

Stage 2

第3ステージ 27

Stage 3

交通規制のあらまし 31

The outline of the traffic restriction

歴代チャンピオン 32

Champions of Tour de Hokkaido

役員名簿 35

Officials

実行委員会名簿 36

Secretaries of Executive Committee of Tour de Hokkaido 2018

賛助会員等名簿 37

Support members

Prize

[プライズ]



北海道カップ (個人総合時間賞)
制作/伊藤 隆道

General Individual Classification
by Time Hokkaido Cup: Produced
by Takamichi Ito

大会最高の栄誉、個人総合時間賞 ポイント・山岳の個人賞と総合力の団体賞

ツール・ド・北海道大会の表彰は、個人総合時間賞、個人総合ポイント賞、個人総合山岳賞、団体総合時間賞及びU26団体総合時間賞の計5つ。なかでも個人総合時間賞は最も評価が高く、個人表彰部門での最高の栄誉とされている。

ステージレースは数日間にわたって各 구간を走り抜き、総走行距離を最も速いタイムで完走した選手を総合優勝とするものである。レースを数日間に分けて行うため、誰が現時点で総合のトップなのかを"リーダージャージ"着用者の義務によって示している。3つのジャージ着用者は、レース期間中は、走行時間、山岳ポイント、あるいはステージポイントにおいて現時点でトップであるということを示しているが、レース終了後の総合表彰式でこれらのジャージを与えられた選手は、各部門において、今大会最も優れた成績をあげたことを意味するのである。



● 個人総合時間賞

個人に授与される「ツール・ド・北海道」最高の賞。大会全レースの個人走破タイムの合計で競われ、優勝者にはチャンピオンジャージとメダルに加え、「北海道カップ」が大会最高の栄誉として授与される。

General Individual Classification by Time

This is the Tour de Hokkaido's highest individual award. The prize is presented based on individual riders' total times for the entire race. The winner will receive a champion's jersey, a medal and the Hokkaido Cup, as the most prestigious prize of the race.



● 個人総合ポイント賞

各ステージのホットスポット、フィニッシュ順位にポイントを設定し、全ステージでのポイント合計の最も高い選手に与えられる栄誉。優勝者にはチャンピオンジャージとカップが授与される。

General Individual Classification by Points

Points will be provided to riders based on Hot Spot and their placings in each stage. This prize is awarded to the individual rider with the highest total points. A champion's jersey and a cup will be presented to the winner.

The most prestigious prize of the race = General Individual Classification by Time Other two Individual Classifications and General Team Classification

The excellent achievements in Tour de Hokkaido will be honored by five prizes: General Individual Classification by Time, General Individual Classification by Points, General Individual Classification of the Best Hill-Climber, General Team Classification and U26 General Team Classification by Time. Among them, the General Individual Classification by Time is regarded as the highest honor given to an individual. In this stage race, the first-prize will be given to the rider who runs through all the stages, covering the total distance in the shortest time. Since the races are held over several days, the rider who leads the tour as of the previous stage must wear the "Leader Jersey" to identify his status. Those wearing the three jerseys show they are the tops in each classification, and those who are given such jerseys at the (Overall) Awards Ceremony on the last day are the riders with the greatest achievements in the Tour de Hokkaido.



● 個人総合山岳賞

山岳のスペシャリストに贈られる最高の栄誉。この賞は大会全コースの幾つかの峠や山岳路の頂上付近に設定された山岳ポイントの通過順位得点の合計で競われる。精神力、脚力ともに最も過酷な部門。優勝者にはチャンピオンジャージとカップが授与される。

General Individual Classification of the Best Hill-Climber (King of Mountains)

This is the top prize for hill climbers. The winner will be determined by total points based on the riders' placings when passing hill points established at several mountain passes and near the summits of mountain roads along the course. This award honors strong legs and mental strength. The winner will be presented with a champion's jersey and a cup.

Panasonic

30年以上続く日本製
オーダーバイクをあなたへ。



パナソニック サイクルテック株式会社
<http://cycle.panasonic.com>

■商品に関する、お客様ご相談窓口 0120-781-603(通話無料) 営業時間/9:00~18:00(年中無休)
■〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号

ORCC01

主催	Organizers
公益財団法人ツール・ド・北海道協会	Tour de Hokkaido Association
公益財団法人日本自転車競技連盟	Japan Cycling Federation

後援	Supporters
国土交通省	Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
スポーツ庁	Japan Sports Agency
経済産業省	Ministry of Economy, Trade and Industry
北海道	Hokkaido Government
北海道市長会	Hokkaido Association of City Mayors
北海道町村会	Hokkaido association of towns and Villages
公益財団法人JKA	JKA
公益財団法人日本スポーツ協会	Japan Sport Association
公益財団法人日本オリンピック委員会	Japanese Olympic Committee
一般財団法人日本自転車普及協会	Bicycling Popularization Association of Japan
一般社団法人自転車協会	Bicycle Association
NHK札幌放送局	Sapporo Station of Broadcasting Corporation (NHK)
北海道テレビ放送株式会社	Hokkaido Television Broadcasting
北海道経済連合会	Hokkaido Economic Federation
一般社団法人北海道商工会議所連合会	Federation of Hokkaido Chamber of Commerce and Industry
公益社団法人北海道観光振興機構	Hokkaido Tourism Organization
一般社団法人北海道建設業協会	Associated General Constructors of Hokkaido Inc.,
一般社団法人北海道舗装事業協会	Hokkaido Pavement Association
一般社団法人日本道路建設業協会北海道支部	Japan Road Contractors Association Hokkaido branch
北海道アスファルト合材協会	Hokkaido Asphalt Mixture Association
一般社団法人北海道バス協会	Hokkaido Bus Association
公益社団法人北海道トラック協会	Hokkaido Truck Association

特別協力	Special Cooperating Organizaions
北海道新聞社	The Hokkaido Shimbun Press

協力	Cooperators
北海道開発局	Hokkaido Regional Development Bureau
北海道経済産業局	Hokkaido Bureau of Economy, Trade and Industry
旭川市	Asahikawa
東神楽町	Higashikagura
東川町	Higashikawa
美瑛町	Biei
上富良野町	Kamifurano
中富良野町	Nakafurano
富良野市	Furano
南富良野町	Minamifurano
新得町	Shintoku
帯広市	Obihiro
音更町	Otofuke
士幌町	Shihoro
上士幌町	Kamishihoro
上川町	Kamikawa

北見市	Kitami
訓子府町	Kunneppu
置戸町	Oketo
遠軽町	Engaru
愛別町	Aibetsu
当麻町	Tohma
公益財団法人北海道体育協会	Hokkaido Amateur Sports Association
一般財団法人北海道交通安全協会	Hokkaido Traffic Safety Association
北海道自転車競技連盟	Hokkaido Cycling Federation
北海道自転車軽自動車商業協同組合	Hokkaido Commercial Cooperative of Bicycles and Light Cars
北海道自転車協会	Hokkaido Bicycle Association
北海道サイクリング協会	Hokkaido Cycling Association
特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会	Hokkaido Cross Country Skiing Association

特別協賛	Special Sponsors
株式会社ロイズコンフェクト	ROYCE' Confect Co., Ltd.
株式会社SUBARU	SUBARU CORPORATION

協賛各社	Sponsors
株式会社阿部商会	ABE SHOKAI LTD.
アマアスポーツジャパン株式会社	AMER SPORTS JAPAN, INC.
井上ゴム工業株式会社	Inoue Rubber Co., Ltd
IKEUCHI GROUP	IKEUCHI GROUP
ウェッジ株式会社	Wedge co. ltd
加藤時計店 (木古内町)	Kato Watch Store (Kikonai Town)
京極製氷株式会社	Kyogoku-Seihyo Company Ltd
サッポロビール株式会社	SAPPORO BREWERIES LTD.
株式会社JTB 北海道事業部	JTB Corp. Hokkaido Division
株式会社シマノ・シマノセールス株式会社	SHIMANO INC. and SHIMANO SALES INC.
パナソニックサイクルテック株式会社	Panasonic Cycle Technology Co., Ltd.
株式会社パールイズミ	Pearl Izumi, Inc.
株式会社マトリックス	MATRIX INC.

岩田地崎建設株式会社	IWATA CHIZAKI Inc.
こぶし建設株式会社	Kobushi Construction Co., Ltd.
大成建設株式会社	Taisei Corporation
道興建設株式会社	DOHKO KENSETSU Co., Ltd.
株式会社ドボク管理	Doboku Kanri
株式会社中山組	NAKAYAMAGUMI Co., Ltd.
日吉建設株式会社	Hiyoshi Kensetsu
菱中建設株式会社	Hishinaka Construction Co., Ltd.
北土建設株式会社	Hokudo Kensetsu

STAGE 3 (9/9)

当麻町

北見市

旭川市

大雪山

北見市留辺薬町

STAGE 1 (9/7)

STAGE 2 (9/8)

新得町

帯広市

凡例 Legend

- S スタート
Start
- HS ホットスポット
Hot spot
- ▲ 山岳ポイント
King of Mountain
- I 補給所
Feed zone
- F フィニッシュ
Finish

■ 2018スケジュール ~総走行距離536km~

■ 9月7日(金)開会式 旭川市総合防災センター駐車場特設会場<8:30~9:00>

【競技日程】

■ 9月7日(金)第1ステージ 185km (ロードレース) 旭川市~東神楽町~東川町~美瑛町~上富良野町~
中富良野町~富良野市~南富良野町~新得町

スタート: 旭川市 総合防災センター前<9:30>
フィニッシュ: 新得町 保健福祉センター前<13:59~14:19ころ>

■ 9月8日(土)第2ステージ 174km (ロードレース) 帯広市~音更町~土幌町~上士幌町~上川町~
北見市留辺薬町

スタート: 帯広市 帯広競馬場前<9:30>
フィニッシュ: 北見市留辺薬町 旭運動公園前<13:42~14:03ころ>

■ 9月9日(日)第3ステージ 177km (ロードレース) 北見市~訓子府町~置戸町~北見市留辺薬町~遠軽町~
上川町~愛別町~当麻町

スタート: 北見市 温水プール前<9:30>
フィニッシュ: 当麻町 とうまスポーツランド<13:45~14:06ころ>

■ 9月9日(日)最終表彰式 とうまスポーツランド駐車場特設会場<15:00>

Course Layout 2018

コースレイアウト2018

北海道の広大な大自然の中を町から町へと公道を使用して巡る本格的な自転車ステージレース「ツール・ド・北海道」は今年で32回目を迎え、道北・道東地域において9月7日(金)から9月9(日)までの3日間、3ステージにわたるロードレースを開催する。道北地域で開催するのは、第29回(2015年)大会以来3年ぶり10回目、道東地域で開催するのは、第28回(2014年)大会以来4年ぶり10回目となる。

今年は、3ステージ全てがロードレースで、4市16町の国道・道道を中心に総走行距離536kmを走破する。

大会初日の第1ステージは、旭川市をスタートし、美瑛町、富良野市など2市7町の国道、道道などを走行し、新得町でフィニッシュする185kmの今大会最長コース。

翌日の第2ステージは、帯広市をスタートし、上士幌町、上川町など2市4町の公道174kmを走行して北見市でフィニッシュする。

最終日の第3ステージは、北見市をスタートして、遠軽町などを経て上川町に抜け、当麻町でフィニッシュする177kmのレースを行って全ての日程を終える。

今年も国内外から21チーム・105人の選手を招き、「北海道の屋根」といわれる大雪山系、および十勝岳連峰を舞台に獲得標高5,403mの大会史上最も過酷な山岳レースが展開される。

Course Layout 2018

Running from September 7 to September 9, the 32nd edition of Tour de Hokkaido, Japan's full-scale cycle road stage race that can provide the route from town-to-town, covers 536km including 20 municipalities (4 cities and 16 towns) over 3 stages. 2018 marks the tenth time that the race will run northern (since 2015) and eastern (since 2014) Hokkaido, respectively.

Stage 1 covers 185km including 2 cities and 7 towns, the longest stage distance of this year, from Asahikawa City to Shintoku Town.

Stage 2 covers 174km from Obihiro City to Kitami City including 2 cities and 4 towns.

Stage 3, on the last day of Tour de Hokkaido 2018 starts from Kitami City and finishes in Tohma Town after passing through Engaru Town and Kamikawa Town.

105 riders of 21 inviting teams from home and abroad will participate this year.

With 5,403m of vertical gain featuring the part of Mt. Daisetsuzan range and Mt. Tokachidake mountains as the course, Tour de Hokkaido 2018 is expected to be the most challenging mountainous race in its history.

September 7 (Fri.) Opening Ceremony Disaster Prevention Center, Asahikawa City <8:30~9:00>

(UCI ME2.2)

September 7 (Fri.) Stage 1 : 185km (Road Race) Asahikawa City~Shintoku Town

Start : Disaster Prevention Center, Asahikawa City <9:30> / Finish : Health and Welfare Center, Shintoku Town <13:59~14:19>

September 8 (Sat.) Stage 2 : 174km (Road Race) Obihiro City~Kitami City

Start : Obihiro Racecourse, Obihiro City <9:30> / Finish : Asahi Athletic Park, Kitami City <13:42~14:03>

September 9 (Sun.) Stage 3 : 177km (Road Race) Kitami City~Tohma Town

Start : Public Swimming Pool, Kitami City <9:30> / Finish : Tohma Sportsland, Tohma Town <13:45~14:06>

Overall Awards Ceremony Tohma Sportsland, Tohma Town <15:00>

NIPPO - ヴィーニ ファンティーニ ヨーロッパ オヴィーニ (イタリア)

NIPPO-VINI FANTINI-EUROPA OVINI(ITALY) / NIP

イタリアと日本の共同チーム。

プロコンチネンタル体制となり4シーズン目を迎え、日本人選手の強化も活動の軸に世界ランキングへの挑戦を続ける。

In the 4th season as Professional Continental team, NIPPO-VINI FANTINI EUROPA OVINI, the Italian-Japanese collaboration team, keeps challenging for the world level while developing Japanese riders as team's main concept.



HKSI プロサイクリングチーム (香港)

HKSI PRO CYCLING TEAM (HONG KONG) / HKS

HKSIは香港を拠点とし、Hong Kong Sports Institute(香港體育學院)という国立体育大学所属のUCIコンチネンタルチーム。アジア選手権ロードで活躍したホーバー選手を含む有望な選手が多く所属する。

HKSI (Hong Kong Sports Institute) Pro Cycling Team is a Hong Kong-based UCI Continental cycling team. The team is full of talent including notable rider, Burr HO who has made good performance in this year's Asian Championship.



LX サイクリングチーム (大韓民国)

LX CYCLING TEAM (KOREA) / LXC

2006年に創立し、2016年からUCIコンチネンタルチームとして登録。

2017年アジアロードチャンピオンのパクサンホンが在籍し、UCIアジアツアーにおいても上位に位置している。

LX Cycling Team has registered as UCI continental team since 2016. With Asia Road Champion, PARK Sang Hong, the team has been in higher rank in UCI Asia Tour Ranking.



ジェリーベリー P/B MAXXIS (アメリカ)

JELLY BELLY P/B MAXXIS (UNITED STATES OF AMERICA) / JBC

Jelly Belly Cycling Teamは、今年で19年目を迎え、現在アメリカで最も長くスポンサー契約を継続しているチームである。レース会場やトレーニング中のジェリービーンサンプル配布で有名な人気チーム。

Jelly Belly, the longest-running pro cycling team in North America, will return for its 19th season, having re-signed with its title sponsor for 2017. The team is a fan favorite and famous for giving away Jelly Belly jelly bean samples to the fans they meet at races and along the way during travel and training rides.



セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム (オーストラリア)

ST. GEORGE CONTINENTAL CYCLING TEAM (AUSTRALIA)/ STG

セントジョージコンチネンタルサイクリングチームは、セントジョージサイクリングクラブハイパフォーマンスプログラムの一部として2012年に設立され、国内レース中心に参戦した後、2015年にUCIアジアツアーの大会に出場する機会を得たことが、現実的に進歩し続ける道筋となった。そして2016年以来、UCIコンチネンタル登録により、世界レベルのUCIアジアツアーレースにおいてチームの存在感を示すことが可能となった。

St George Continental Cycling Team is an established competitive cycling team that is a part of the St George Cycling Club High Performance Program. Founded in 2012, the team had a primary focus on development through participation in the National Road Series. In 2015, following three successive years of development, the opportunity to race as a part of the UCI Asian Continental Circuit became a realistic pathway for continued progression. This Continental Licence has enabled the Team to participate on the UCI Asian Tour since 2016 to the present day enabling our riders exposure on the world stage.



セブンイレブン-CLIQQ ロードバイク フィリピンズ (フィリピン)

7ELEVEN-CLIQQ ROADBIKE PHILIPPINES (PHILIPPINES) / 7RP

日本でも馴染みのあるセブンイレブンをメインスポンサーとし、アジアを主戦場に戦うフィリピン籍コンチネンタルチーム。

ライダーは各スペシャリストが揃っており、どのようなレースにも対応できます。

2018ツールドランカウィ ベストアジアンライダー3位を獲得しました。

With 7 ELEVEN as the main sponsor, 7 ELEVEN ROADBIKE PHILIPPINES is a Philippine-based UCI continental team, racing in Asia as the major battlefield. The team consists of specialists who can deal with any type of race. In Tour de Langkawi 2018, one of the riders won the 3rd place of Best Asian Rider.



愛三工業レーシングチーム

AISAN RACING TEAM / AIS

愛三工業レーシングチームは2006年のUCIコンチネンタル登録時から変わらず、グローバルな環境で活躍できる日本人選手の育成を理念に活動を続けています。2018年もその理念は変わらず、UCIアジアツアーを中心に活動してきます。チームの目標は、UCIアジアツアーでUCIポイントを獲得すること。UCIポイントを獲得することで、チームと個人のUCIランキング上位を目指します。また、オリンピックや世界選手権の出場枠を獲得するために、日本人選手によるポイント獲得に拘ります。

AISAN Racing Team has been dedicating to develop the level of Japanese riders to compete in global environment by focusing on UCI Asia Tour since its registration as continental team in 2006. Winning as many UCI points as possible, is the team's goal to move up in UCI rankings both in team and individual which leads to secure the qualification of the World Championships and Olympic games.



インタープロ ストラダリー サイクリング

INTERPRO STRADALLI CYCLING / IPC

長野県飯田市を拠点とし、日本から世界の舞台を目指し、自転車界において日本とフランスの関係を構築していく目的のもとに2006年に設立された。

Interpro Cycling Academy(Interpro STRADALLI Cycling, this season), based in Iida City, Nagano Pref., has been established in 2006 for the purpose of aiming for the world stage and building the relationship between Japan and France in cycle race world.



キナンサイクリングチーム

KINAN CYCLING TEAM / KIN

キナンサイクリングチームは、和歌山県に本社を構える株式会社キナンをメインスポンサーとし、国内外でのレース活動を主とした自転車ロードレースチームです。地元の和歌山県、三重県にまたがる熊野地域で毎年行われるUCI(国際自転車競技連合)公認の国際ロードレース「Tour de 熊野」での優勝とレースイベントの成長を最大の目標とし、それにより熊野地域への貢献、地域活性、スポーツ振興、自転車文化の発展に尽力していきます。また、もう一つの活動拠点、愛知県を中心に行われるレース KINAN COUPE DE AACA(通称AACAカップ)では、若手選手の育成や東海地区でのレースイベント活性化と発展に協力していきます。

Kinan Cycling Team, sponsored by KINAN Co., LTD., based in Wakayama Pref., is the road racing team for both home and abroad. The team's ultimate goal is to win UCI race "Tour de Kumano" held in their hometown as well as trying to make contributions to the community and promote to develop the local cycling culture.



マトリックスパワータグ

MATRIX POWERTAG / MTR

アクティブ型ICタグの開発・製造・販売を行うマトリックスがメインスポンサーで、監督を筆頭にイケメンが揃う大阪府高石市を拠点とするチーム。昨シーズンは、ホセ・ビセンテ・トリビオがツール・ド・熊野個人総合チャンピオンを獲得。さらに元全日本チャンピオンの佐野淳哉と土井雪広を擁するなど、強力なメンバーによって熱き戦いを繰り広げる!

Based in Takaishi City, Osaka and with MATRIX INC. the company of development, manufacturing and sales of active IC tags as the main sponsor, the team of this season challenges for the exciting battle with the strong riders like Jose Visente who won GC of Tour de Kumano last year and former national champions, SANO Junya and DOI Yukihiro.



那須ブラーゼン

NASU BLASEN / NAS

那須ブラーゼンは、日本初の観光地での地域密着型ロードレースチームです。レース活動としては国内最高峰のシリーズ戦であるJBCFロードレースシリーズ「J PRO TOUR」(全日本実業団自転車競技連盟主催)を主戦場とします。そして、シリーズ戦の優勝を目指すと共に那須に育まれたチームとして『那須=自転車』のイメージ構築、自転車による那須地域の活性化・健康・観光、そして自転車の振興・普及に寄与していき地域に根差し、愛され、貢献するチームを目指します。

As the first community-based cycle road team based in tourist destination in Japan, Nasu Blasen mainly participate in JBCF road series "J PRO TOUR". The team also aims to revitalize Nasu region as "the town of the bicycle", through contributing to local health and tourism by promoting cycling to local people.



シマノレーシングチーム

SHIMANO RACING TEAM / SMN

1973年のチーム立ち上げ以来40年以上の歴史を数える伝統のチーム。過去、多くの日本チャンピオンやオリンピック代表選手を輩出してきた。近年は『世界トップレベルで活躍する選手育成』という目的を掲げ可能性を持つ若手選手中心のチームへと変化、2018年はチームエース入部正太郎が『ツアー・オブ・タイランドUCI2.1』『ツール・ド・熊野UCI2.2』でステージ優勝、木村圭佑キャプテンが『Jプロツアー那須ロード』で優勝他、シーズン前半に複数の勝利を収めている。

As one of the most prestigious teams in Japan with over 40 years history, Shimano Racing Team has produced many remarkable riders since its foundation in 1973. In recent years, the team has focused on developing young promising riders to challenge for the world level and started making steady progress by making good result including several stage victories at home and abroad this year.



チームブリヂストンサイクリング

TEAM BRIDGESTONE CYCLING / BGT

1964年設立からブリヂストンサイクル自転車競技部として、アスリートの育成・強化を実施。2018年、東京2020オリンピック・パラリンピックで表彰台を目標に「TEAM BRIDGESTONE Cycling」とチーム名を変更。今年は本社のある埼玉県上尾市から東京2020オリンピック・パラリンピックの自転車競技開催地にも近い、静岡県三島市活動の拠点を移し始動。スピードに自信のある選手が多く、「断トツの日本一」を目指します。

The team has over 50 years history since the establishment as "Bridgestone Cycle Racing Team" in 1964. This year, the team has changed its name into "TEAM BRIDGESTONE Cycling" and relocate the main base from Ageo City in Saitama Pref. to Mishima City in Shizuoka Pref., where Tokyo 2020 Olympic and Paralympic venue of cycling is included. The team consists of many sprinters who aim to be "runaway leader in Japan".



チーム右京

TEAM UKYO / UKO

Team UKYOは、元F1ドライバーの片山右京が2012年に結成したUCIコンチネンタルチームです。本拠地は神奈川県相模原市。日本人8名、スペイン人3名、オランダ人2名、オーストラリア人1名の計14名からなり、2017年ロード日本チャンピオンの畑中勇介や、ツアー・オブ・ジャパン2016,2017連覇のオスカル・プジョル、2018年ツール・ド・熊野総合優勝のマーク・デマールが所属しています。

UCI continental team, Team UKYO has been founded in Sagami-hara City, Kanagawa Prefecture by former F1 driver, Ukyo KATAYAMA in 2012. The team consists of 8 Japanese, 3 Spanish, 2 Dutch and 1 Australian riders including 2017 National Road Champion HATANAKA Yusuke, Oscar PUJOL who won GC of Tour of Japan for 2 years in a row, and Tour de Kumano GC winner, Mark DEMAL.



宇都宮ブリッツェン

UTSUNOMIYA BLITZEN / BLZ

2008年10月、チーム創立。2009年シーズンよりレースへ参戦。そして2018年は節目となる10年目のシーズンへ突入します。地域密着型のプロサイクルロードレースチームとしての原点。その原点を胸に抱きながら、宇都宮ブリッツェンは常に勝利を求めてアタックし続けていきます。ゴールのその先にある、ブリッツェンの未来、宇都宮の未来、そしてロードレースの未来を見据えて。常識を覆す先進性と革新的な試みはこれからも継続します。10年目の宇都宮ブリッツェン、どうぞ期待ください。

Utsunomiya BLITZEN has its 10th season since the foundation in 2008. Keeping the original concept as a community-based pro cycle road race team in mind, Utsunomiya BLITZEN continues seeking for the victory for the future of the team, Utsunomiya City and cycle road race. Please do look forward to the progressive and innovative challenge.



北海道地域選抜

SELECTED HOKKAIDO

第1回大会から参加している地元北海道チーム。北海道を拠点として活動中の選手から、毎年予選で選考された選手で構成される。選抜チームでの本大会出場が、北海道内選手の目標であり、選手育成に一役を担っている。

Selected Hokkaido, consisting of local riders survived from qualifying race, has been participating in Tour de Hokkaido since the first edition. To take part in Tour de Hokkaido as the member of this team is the big motivation for riders in Hokkaido while it plays significant role to develop them.



日本大学

NIHON UNIVERSITY

昭和26年度に創部した部で、卒業生を500名以上輩出し、全国で50名以上の卒業生が高校教諭として高校生の指導にあっている。池村部長(法学部長・教授)、水落副部長(文理学部教授)のご指導のもと、本来個人スポーツである自転車競技をチームスポーツとして戦ってきている。規則正しい合宿所生活・厳しい上下関係で鍛え育てられた学生は卒業後に社会人として各分野で活躍している。

Nihon University Cycling Team has produced more than 500 graduates including more than 50 educators since its foundation in 1951. The discipline based on teamwork under the supervision of professors, helps students do great work in various fields as members of society even after their graduation.



鹿屋体育大学

NATIONAL INSTITUTE OF FITNESS & SPORTS IN KANOYA

国内唯一の国立体育大学として最先端の科学トレーニングを取り入れ、世界を目指して活動をしている。積極的なレース展開とチームワークが持ち味で、昨年の同大会においてU26チーム総合時間賞、個人で総合山岳賞を獲得した。

As the only national 4 year sports university in Japan, National Institute of Fitness & Sports in KANOYA has been seriously training under the best environment, thanks to warm weather, abundant nature and scientific training system to challenge for the world level. With aggressive race development and teamwork, the team won U26 team classification and individual mountain classification in Tour de Hokkaido 2017.



京都産業大学

KYOTO SANGYO UNIVERSITY

今年で3年連続の出場になります。選手たちも経験を積んでくれたので、中井唯晶・藤田俊輔の二人で総合成績上位を、また吉岡衛がステージ上位を目指します。青白のユニフォームと黄色の自転車の応援をお願いします。

After the experience of participation in Tour de Hokkaido three years in a row, NAKAI and FUJITA will aim for top results in general classification while YOSHIOKA will challenge for top results in stages. We appreciate your cheers when you see our blue-white jersey and yellow bicycle!



早稲田大学

WASEDA UNIVERSITY

2018年(今年)で創部85年になる日本の自転車競技の創成期からのチームである。2名のオリンピック出場者を含み競輪界や実業団にも多数の人材を輩出している。大学は人材育成機関であるのでチームは若い。監督以外の7名はコーチ、トレーナー、選手の全員が22歳以下の学生で構成されている。埼玉県南部と東京都西部多摩地域の「都の西北」を練習と合宿の拠点としているが、メンバーは全国から集まっている。

With long history of 85 years, Waseda University has produced many athletes including Olympians, Keirin and J Pro Tour world since its foundation. The university team as human resource development institution, consists of U23 students from all over Japan.



北海道大学

HOKKAIDO UNIVERSITY

当チームは1987年にツール・ド・北海道出場を目的として創部されました。部の一大目標である本大会に向けて入念な準備を積んできました。応援して下さる多くの方々の期待や地元の声援に応えられるよう、そして昨年以上の成績を残すことができるよう、全力で走り抜きたいと思えます。

The team was founded in 1987 to aim for participating in Tour de Hokkaido. The team has been preparing for this major event deliberately. We will do our best to make the better result to fulfill the expectation from many supporters and locals.





作り手であり、使い手である。

着心地、肌触り。人の手でしか辿り着けない感性の領域にまで妥協を許さない。
作り手であると同時に、使い手である私たちにしかできないモノづくりがある。
サイクリストが肌で感じる感覚を追い求めたそのウェアは
世界のトップアスリートと磨き上げられ、あなたが手にする1着へと昇華する。



www.facebook.com/pearlizumijp/



twitter.com/pearlizumi_jp



[instagram.com/pearlizumijapan](https://www.instagram.com/pearlizumijapan)

RIDE ON TOGETHER

株式会社パールイズミ 〒130-0026 東京都墨田区両国2-4-2 Tel: 03-3633-7556 Fax: 03-3633-5464
お客様相談窓口 Tel: 03-6825-3450 [平日 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く)]

www.pearlizumi.co.jp



PEARL IZUMI

NEW

イメージ
準備中

キャップ
近日発売予定

NEW

イメージ
準備中

ポロシャツ
近日発売予定

NEW

Professional cycling team
MATRIX POWERTAG

Professional cycling team
MATRIX POWERTAG

ステッカーセット
全5種類 / 150×100mm / 屋外仕様
¥400

White Navy

Tシャツ
ドライ素材 / サイズ S・M・L
¥3,500

マフラータオル
約1060×約200mm / 今治タオル
¥1,800

キーホルダー
約60×約50mm / ラバータイプ
¥700

ソックス
FOOTMAX製3Dソックス
¥2,500

ソックスセット
2017、2018年モデルの二点セット
¥3,500

残りわずか

缶バッジ
直径約44mm
各 ¥500



ショッピングアプリ【BASE】で **MATRIX POWERTAG OFFICIAL WEB SHOP** をフォローすると、最新のニュースやおトクなクーポンが届きます!!

ツール・ド・北海道をより楽しむための **基礎知識**

ツール・ド・北海道は1987年に開催され、第5回大会の91年からは大韓民国、アイルランドが海外チームとして加わるなど年々海外チームの参加が増え、97年の第11回大会からUCI公認大会として承認され、“国際大会”としても本年で22回目を迎える大自然の中を町から町へと公道を使用して巡る本格的な自転車ステージレースである。1903年から始まったツール・ド・フランスは、フランス及び周辺国を舞台に一周し、その所要時間がいちばん少なかった選手が優勝となるスポーツイベントであり、ツール・ド・北海道はツール・ド・フランスの日本版である。ツール・ド・フランスにプロフェッショナルな日本人が出場したのは、96年の今中大介選手、そして2009年には、新城幸也、別府史之の両選手が出場している。新城選手は、その後2010年、2012年から2014年、2016年、2017年と通算7回の出場を果たすなど近い将来には多くの日本のチームや選手が活躍するであろう、その登竜門とも言えるのがツール・ド・北海道のステージレースである。

自転車レースでは、平地でも平均時速40km以上の速さ、しかも輝きながら近づいて来る銀輪集団。カラフルなウェアをまとった集団。その軽快感、選手達とともに通りすぎる風を感じることができる。さらにその迫力やスピード感は、そこでしか味わえないものである。

Tour de Hokkaido has been the full-scale town-to-town style road race held on public road in nature since its first edition in 1987 and it has also been 22 years as an UCI-sanctioned international race fulfilling the role as the gateway to the world. We can say that Tour de Hokkaido is sort of Japanese version of Tour de France which started in 1903. In fact, many world-class Japanese riders like Daisuke IMANAKA, Yukiya ARASHIRO and Fumiyuki BEPPU used to participate in Tour de Hokkaido before stepping up to ride in Tour de France which ARASHIRO have participated 7 times so far. In cycle road race, you can enjoy the vision of peloton with colorful peloton and shiny wheels, and their speedy performance with aggressiveness which the cycle road race can only provide.

① ゼッケン

最初は所属する選手のうち、前年の個人成績が最もいい選手の順位を抽出し、チーム順を決める。移籍した場合は今年の所属チームにその権利が与えられる。チームエースを下ひとケタ1番にするが、厳密な規定はない。

Race Numbers

The order of participating team is determined by taking into consideration of the previous season's results. In case of transferring the team, riders will carry points to their new team. The team leader tends to be given final digit "1" of the race number.



② 総合優勝

ステージレースは数日間にわたって各区間を走り抜き、総走行距離を最も早いタイムで完走した選手を総合優勝とするものである。チームエースを勝たせるために高度な戦略を取って戦い、各チームは総合優勝をねらうエースと、それを援護するアシスト役に分業、チームが一丸となって戦っているのが自転車レースの魅力である。マラカイトグリーンを着て走るのがその時点でのリーダーであり、その他、青色のポイントジャージと赤色の山岳ジャージがある。

General Individual Time Classification

It is awarded to the rider with the shortest overall time for all the stages added together, the rider who has covered the course faster than anyone else. Other riders totally dedicate to assist their team leader. In Tour de Hokkaido, you can recognize the leaders by jersey colors: Green: GC, Blue: Points, and Red: KOM



③ 補給所

長丁場のレースを走り抜くためには欠かせないのが補給所である。原則 150km以上のステージには補給地点を設定し、選手に好みに応じた食料等の補給を行う。補給スタッフはチームの役員が担当、スタート前に先行して補給地点に向かう。選手は走りながら食料やボトルを入れたサコッシュを受取る。

Feed Zone

Feed zone must be installed in the stage longer than 150 km according to UCI regulations. Each team staff get there in ahead of time to supply their riders sufficient food and drink when riders passing by there. Riders slightly slow down to grab the bag of food and drink prepared by the team staff.



④ タイムオーバー

ステージ難度に応じて制限タイムが算出され、それをオーバーした選手が失格となる。たとえば区間優勝者の平均速度の6%とか、山岳ステージでは14%が制限タイムとなるが、気象状況や不測の事態などが考慮されて救済される場合もある。ツール・ド・北海道の特別規則で北海道においては、交通事情を考慮して先頭選手が通過してから20分でオーバータイムとして選手が失格となる。もちろんフィニッシュにおいても区間優勝選手から20分を過ぎると失格となる。

Finishing time limit

In general, finishing deadline is decided depending on the characteristics of the stage. The riders who are past this time limit will be eliminated from the race, except for the bad weather condition or unpredictable accidents. The specific regulations of Tour de Hokkaido set the finishing deadline in accordance with the traffic situation in Hokkaido: In case of more than 20 minutes delay from the leading rider, the riders will be eliminated from the race.

⑤ドーピングコントロール

各ステージのフィニッシュ地点に対象選手のゼッケンが提示され、アンチドーピングコントロールが行われる。不正薬物が検出されたら、記録が抹消され制裁をも加えられる。また、シーズンを通して抜き打ち検査も行われることもある。

Doping control

Doping control is conducted after each stage. The riders concerned will be notified in person by the chaperon right after crossing the finish line and their numbers are posted at finish area. In case of violation, they are not only penalized also their records will be deleted. Some athletes even get out-of-competition testing without any notice during season.

⑥隊列および随行車両関係

キャラバン編成表を見れば多くの車両が随行していることがわかる。広報車やパトカーに挟まれた部分に、本部車、審判車、チームカー（各チーム1台）、共通機材車や救護車で選手の前後に位置しサポートする。また、タイムオーバーした選手は、後方関門車の指示で選手収容車に収容する。

Race Vehicles

The chart of the race caravan shows that various race vehicles (organizer, commissaries, team, neutral service, doctor, ambulance etc.) are allocated during the race for each task to support the riders. The riders who are behind the finishing time limit are picked up by the broom wagon.



⑦エースとアシスト

ステージレースでは、各チームはエースを勝たせるための作戦をもってレースに臨む。競技の運営も、チームカーを配置するなどチーム全体としてのサポートを前提とした運営がなされる。チームの中で、優勝を狙うエースと、それを色々な場面でサポートするアシスト（エース以外の選手）に明確に役割分担がなされている訳である。アシストは、ある時は風除けになり、また集団の中でのトラブルからエースを守り、また他チームの選手が先行すれば、それを追走して集団から差がつかないように、適宜対応する。またエースも、峠や終盤などでチャンスがあれば自ら先行して、他チームのエースとのタイム差を広げる。

Riders' task: Ace and Assist

Race strategy of each team is the highlight of the stage race. Assist riders devote themselves flexibly to support and promote their leaders' chances. They would be the windshield to protect him or follow the other teams to close the gap between the groups.

⑧選手の位置取りに注目！

自転車ロードレースは「高速」で走るので風圧を強く受ける。時速40kmで走るのは、毎秒11mの強い逆風の中を走ることと同じことである。その風圧にどうやって立ち向かうかが、ロードレースの大きなポイントになる。前を走る選手の車輪に接するように走れば、風圧の影響は大幅に減少する。そこで選手は、通常は集団の中で一人で風を受けることの無いように走る。集団で走っている場合、先頭の選手が入れ替わるのは、風圧の負担を交互に受けるためである。これを先頭交代という。しかし、それだけでは他の選手に差をつけることはできない。このため逃げ切ってタイム差をつけるため、あるいは（全体のペースをあげるなど）作戦上、集団から先行することがある。これが、チーム間の駆け引きである。

Pay attention to the position of the riders

Wind pressure is the big issue in cycle road race. The way to deal with the wind would decide the race. In order to avoid the wind pressure, the teams often cooperate and ride in a line changing the front riders while protecting the leaders in the back of the peloton. Of course, each team waits for the right time to attack.

⑨ロードレースはチームプレー

平地では、いかに集団の中で風圧を避けて体力を温存し、最後の瞬発力で争うのか、あるいは一人で風を受けるリスクを負ってでも集団（他の有力選手）から先行して差をつけるのが、重要な選択となる。そうした選手の心理を推測するのも興味深いところである。チームのエースは、多くの場合、集団の中で自チームの選手に守られて走る。その状況において先行する機を窺い集団から先行して逃げることはあっても、決して集団の先頭を走ることではない。こうした点が自転車のロードレースとマラソン等他の競技との決定的な違いである。

Team Strategy

In general, while the assist riders are riding in front of the peloton, the team leader is staying in the back to save enough energy to be ready for the sprint for utilizing any chance. While the principle remains of the winner being the first to cross the line, many of the riders are grouped together in teams. The choice will depend on the situation. Cycle road race doesn't follow the typical format of most other sports.



⑩レースの見所、観戦ポイント

チームの作戦などを見極めるのは大変だが、カラフルなウエアを参考に判断するのも見所、観戦ポイントである。リーダージャージを着用する選手がどこにいるのか、その周辺にいる同じチームの選手がどういう動きをしているのか、レースの焦点となる。

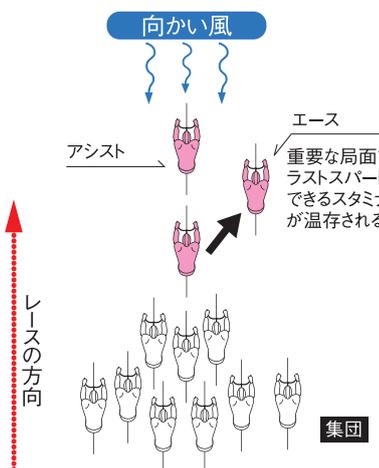
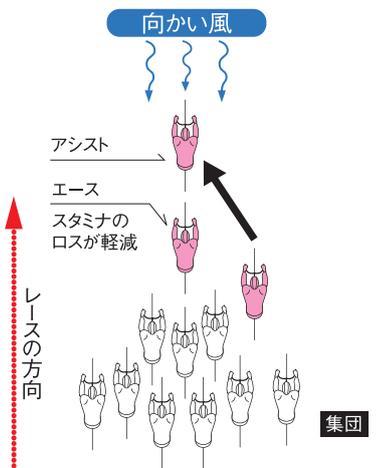
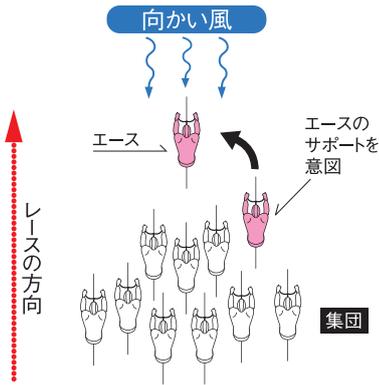
Tips to enjoy the race

When watching the race, you can focus on the riders wearing each classification jersey. If you spot them, you can also see their team tactics going on around them.

1

味方エースの向かい風を軽減させるアシスト。

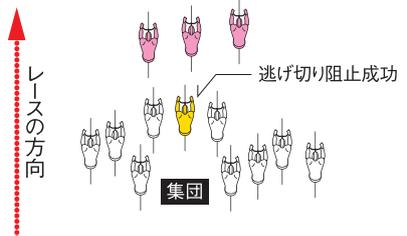
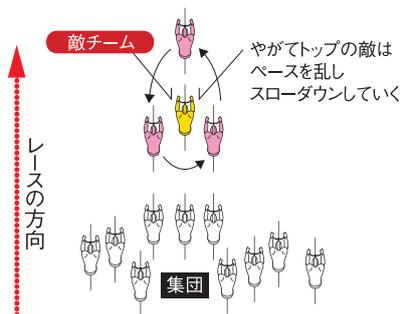
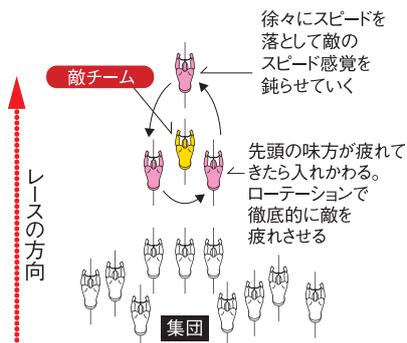
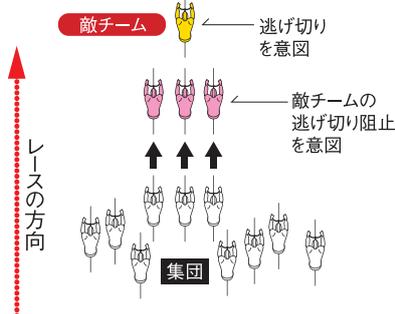
彼の仕事は、味方エースのスタミナのロスを少しでも軽減させることである。長い距離でもあるので、アシストがあるのとないのでは、大きな差がでる。



2

包囲網を形成し、敵チームのスローダウンを狙うフォーメーション。

彼らの目的は、敵の先行逃げ切り型の作戦を阻止することである。敵チームの前に出ながら、気づかれぬようにスピードダウンし敵のスピード感覚を徐々に乱していくのである。敵チームとしても、しつこく包囲されることによって、精神的にもキツイ状態に追い込まれていく。

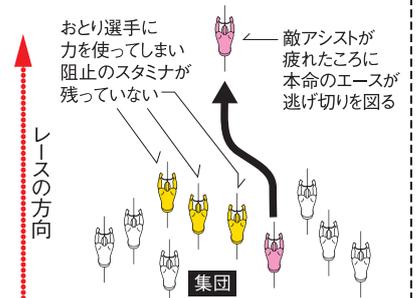
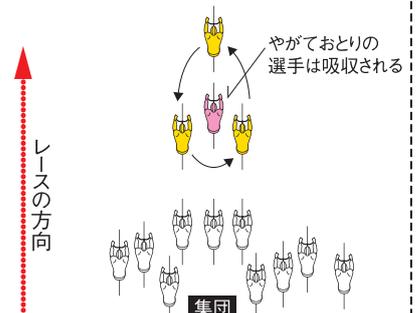
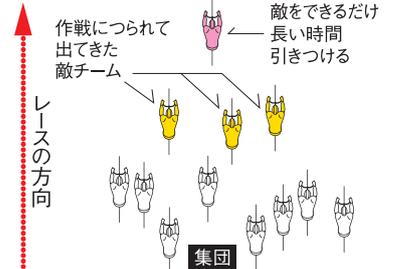
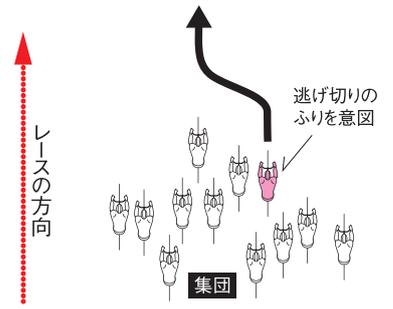


先頭集団はやがて後続の集団に押し戻されていく。この状態を“吸収”という。

3

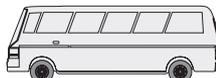
敵チームのスタミナ配分を乱す作戦。

彼の目的は、トップでゴールインすることではなく、1位を狙う選手のスタミナ配分を狂わせ、結果的に味方チームのエースが計算通りに走れるようにすることである。



第1、第2、第3ステージ(スタート時のパレード区間) Stage 1,2,3(Parade section at the start)

←進行方向
Direction
of progress

	1 スピーカー  先頭広報車(受信) Public information car (receiving)	2  共通報道車(受信) Press vehicle (receiving)	3  規制予告パトカー(送受信) Police car for advance notice of traffic restrictions (transmission and receiving)
4  本部車No.1(受信) Guests No.1 (receiving)	5  本部車No.2(送受信) Guests No.2 (transmission and receiving)	6  先導パトカー(受信) Escort police car (receiving)	7  カメラオートバイ(受信) Camera motorcycle (receiving)
8~9  オートバイエスコート(受信) Motorcycle Escort (receiving)	10  共通機材車(送受信) Neutral service motorcycle (transmission and receiving)	11~12  共通機材車(送受信) Neutral service vehicle (transmission and receiving)	13  レースディレクター車(送受信) Event Director's Car (transmission and receiving)
14~17  審判オートバイ(送受信) Commissaire's motorcycle (transmission and receiving)	18 COM2  第2コミセール車(送受信) Deputy Chief Commissaire's car (transmission and receiving)	11~12  (選手団) Riders	19 COM1  チーフコミセール車(送受信) Chief Commissaire's car (transmission and receiving)
20~22  審判オートバイ(送受信) Commissaire's motorcycle (transmission and receiving)	23~28  オートバイエスコート(受信) motorcycle (receiving)	29~30  TVオートバイ TV motorcycles	31  ドクターカー(送受信) Doctor's car (transmission and receiving)
32  共通機材車(送受信) Neutral service vehicle (transmission and receiving)	33  本部車No.3(送受信) Guests No.3 (transmission and receiving)	34 COM3  第3コミセール車(送受信) Commissaire's car No.3 (transmission and receiving)	35~55  チームカー(受信) Team cars (receiving)
56  審判オートバイ(送受信) Commissaire's motorcycle (transmission and receiving)	57 COM4  第4コミセール車(送受信) Commissaire's car No.4 (transmission and receiving)	58  関門審判車(送受信) Mobile relay car (transmission and receiving)	59~60 スピーカー  救護車(受信) Ambulance (receiving)
61  後方関門車(送受信) Elimination commissaire car (transmission and receiving)	62  規制解除パトカー(受信) (後押パトカー) Police car for lifting traffic restrictions (receiving) (Police car at the rear)	63 大型バス  選手収容車(受信) Sag-wagon (receiving)	64 4tコンテナトラック  自転車収容車(受信) Bicycle pick-up vehicle (receiving)
65 スピーカー  後方広報車(受信) (終了周知車) Public information car at the rear (receiving)			

EASY. SAFE. FAST.

THE ONLY STANDARD IN ROAD TUBELESS

乗り心地滑らか、 パンクにも強い

- 走行中にかかる圧力を低くすることで
より高い快適性と
より低いパンクリスクを実現
- わずか 30g のシーラントで
パンクを防ぐ

直線での高速性と 素早いターン

- 全く新しいラバー
コンパウンドによって
最高のグリップバランスと
転がり抵抗の低減を実現
- チューブとタイヤの
摩擦がなくなり
転がりスムーズに
- UST®システムが
(シーラント含む)
従来のタイヤ &
チューブシステムに
比べ 40g 軽量

安全かつ 使いやすい

- ケブラービードの
伸縮性によって
安全性を100%
保ちながら脱着が簡単



MAVIC

STAGE 1

9/7 Fri.

第1ステージ 185km (ロードレース)
Stage 1: 185km (Road Race)

■第1ステージ日程表 / Schedule

スタート：旭川市 総合防災センター前<9:30>
フィニッシュ：新得町 保健福祉センター前<13:59~14:19>
表彰式：新得町 役場駐車場特設会場<14:30>

Start : Disaster Prevention Center, Asahikawa City <9:30>
Finish : Health and Welfare Center, Shintoku Town <13:59~14:19>
Awards ceremony : Parking lot of Shintoku Town Hall, Shintoku Town <14:30>

September 7 (Fri.) Stage 1 : 185km (Road Race) Asahikawa City ~ Shintoku Town



交通アクセス (Access)

●9 / 7 (金) 第1ステージ

スタート地点：旭川市 総合防災センター前

バス ... 「旭川駅70番」又は「旭川駅前84番」バス停から
「ひじり野1条5丁目」下車 約800m 徒歩約8分

タクシー ... 「JR旭川駅」から約8km 約25分
「旭川空港」から約10km 約20分

フィニッシュ地点：新得町 保健福祉センター前

徒歩 ... 「JR新得駅」から約750m 徒歩約9分

タクシー ... 「JR帯広駅」から約46km 約60分
「とちかち帯広空港」から約70km 約70分

●September 7 (Fri) Stage 1

Start : Disaster Prevention Center, Asahikawa City

バス ... From Asahikawa Eki (bus stop No. 70) or Asahikawa Ekimae (bus stop No.84) ... Get off at "Hijirino 1-jo 5-chome" and 8-min. walk (800 m)

タクシー ... From JR Asahikawa sta. ... 25 min. (8 km)
From Asahikawa Airport ... 20 min. (10 km)

Finish : Health and Welfare Center, Shintoku Town

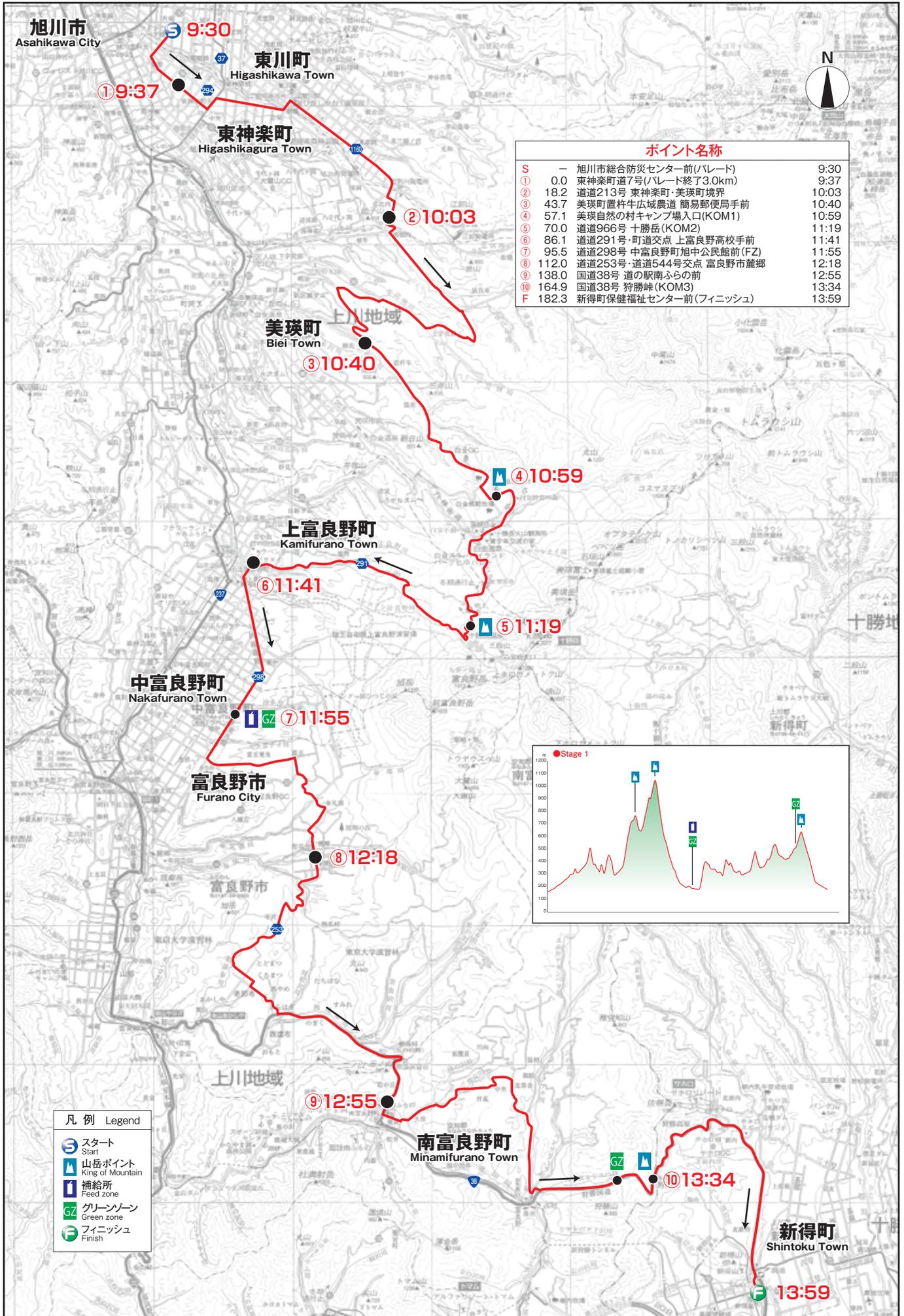
徒歩 ... From JR Shintoku sta. ... 9 min. (750 m)

タクシー ... From JR Obihiro sta. ... 60min. (46km)
From Tokachi Obihiro Airport ... 70 min (70 km)

大会初日の第1ステージは、旭川市（総合防災センター前）からスタートして東神楽町、東川町を疾走して美瑛町に入り、美瑛町KOM（標高766m地点）で最初の山岳ポイントを競った後、道道966号に入り、十勝岳連峰主峰十勝岳の中腹にある今大会最初の難所、吹上温泉先の十勝岳KOM（標高1,050m地点）で2回目の山岳ポイントを競い、道道291号を上富良野市街まで一気に下って中富良野町で補給を受けた後、富良野市麓郷の丘陵を抜け富良野市西達布から国道38号に入ります。南富良野町「道の駅南ふらの」前を通過し、狩勝峠KOM（標高642m地点）で本ステージ3回目の山岳ポイントを競った後、一気に下って平坦コースを疾走し、新得町保健福祉センター前でフィニッシュする185kmの本大会最長コースです。第1ステージは、標高千メートルを超える十勝岳KOMが序盤に設定されており、選手の完走を阻む第一関門になります。また、新得町最後の直線道路でのゴールスプリント争いも見ものです。



On September 7, Stage 1 starts in front of Disaster Prevention Center in Asahikawa City as parade (neutralizing start). This stage features three KOM (King of Mountain). At the entrance of Biei Nature Village Campsite in Biei Town, the peloton faces the first KOM (H=766m) after passing through Higashikagura Town and Higashikawa Town. Following the second KOM at Mt. Tokachidake (H=1,050m) near Fukiage Hot Springs, the descent leads to downtown Kamifurano and Feed Zone awaits in Nakafurano Town. The third KOM at Karikachi Pass (H=642m) will come after passing through hilly Rokugo area and Michi-no-Eki Minamifurano in Minamifurano Town. The tough KOM over 1,000m, set in the beginning, is one of the biggest hurdles to get over to complete the race. Finish sprint is also must-see highlight of this stage.





■旭川市 (Asahikawa City)

北海道のほぼ中央、雄大な大雪山連峰や十勝岳連峰の麓に位置する旭川市は、秋にはサケが遡上する忠別川をはじめ多くの川が流れ、明瞭な四季が織りなす豊かな自然に恵まれています。また、北海道第2の都市として、商工業のほか、医療、教育などの都市機能が充実しています。近年は、航空路線の充実により外国人観光客が増加しており、全国的に知られる動物園や雪質の良いスキー場などに国内外から年間500万人を超える観光客が訪れています。

Asahikawa City is located in the bottom area of the Daisetsuzan Mountains and Tokachidake Mountains, near the center of Hokkaido. The abundant nature, such as numerous rivers, provides difference in the four seasons. As the 2nd largest city in Hokkaido, Asahikawa is fulfilled with the city function. Growing flight network in recent years increased the number of tourists from abroad, many of them visiting Asahiyama Zoo and ski areas with good snow. Now, over 5 million tourists a year are visiting Asahikawa, including domestic tourists.



■東神楽町 (Higashikagura Town)

東神楽町は、北海道の真ん中にある大雪山のふもとに位置し、北海道第二の都市・旭川や観光地で有名な富良野・美瑛にも近く、「自然と都市が調和したまち」です。忠別川がもたらした肥沃な農地を生かし、農業のまちとして発展してきました。美しくのどかな田園空間が一面に広がり、緑と澄んだ空気に包まれた豊かな自然が息づくとともに、「花のまち」としても知られています。道北の空の玄関である旭川空港があるアクセスのいい東神楽町にぜひお越しください。

Located in the bottom of Mt. Daisetsuzan, the center of Hokkaido, Higashikagura has been developed as the agricultural town thanks to the fertile farmland while being close to the second largest city of Hokkaido, Asahikawa City and the tourist's spots, Furano Town and Biei Town. Higashikagura Town is also known for its flower with beautiful pastoral atmosphere provided by abundant nature spreading over. Please come and visit easily accessible Higashikagura Town where the entrance of northern Hokkaido, Asahikawa Airport is located.



■東川町 (Higashikawa Town)

東川町は、北海道最高峰旭岳 (2291m) の麓にある全国でも数少ない上水道のない町です。良質な水により「ゆめぴりか」や「ななつぼし」などの良質の米や野菜の産地になっているほか、最近ではカフェやパン、アウトドアショップなどおしゃれな店が多数出店し多くの人々が訪れています。また、全国で初の町立の日本語学校が開校し、東アジアを中心に多くの国々から日本語研修生を受け入れています。

Located in the bottom of Mt. Asahidake (2291m), Higashikawa is the rare town in Japan that doesn't use tap water. Natural blessing of high quality natural water helps to grow high quality rice and vegetables. There are variety of cafes, bakeries and outdoor shops you can enjoy in recent years. Also, the town opened Japan's first municipal Japanese School accepting international students from many countries, especially East Asia.



■美瑛町 (Biei Town)

美瑛町は北海道のほぼ中央に位置し、なだらかな波状丘陵と雄大な緑豊かな自然環境が魅力のまちです。小麦、甜菜、豆類、馬鈴薯などの畑作農業を基幹産業としながらも、近年は「日本で最も美しい村」連合の取組みをはじめとした、美しい景観を次の世代に伝える取り組みも行っています。最近では、道の駅びえい「丘のくら」に次いで町内で2か所目となる道の駅びえい「白金ビルケ」が平成30年5月にオープンしました。道の駅のほか、「青い池」や「パッチワークの丘」など美瑛町の魅力を肌で感じることができる名所として観光客からの人気を集めています。

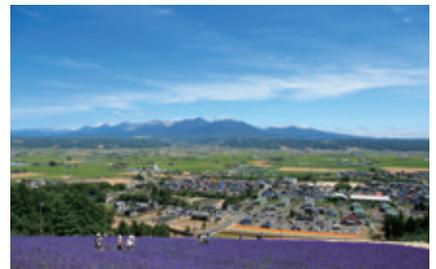
Known as one of the Most Beautiful Villages in Japan, Biei Town attracts visitors with its gently rolling hills and magnificent nature. While promoting the main industry of the town, crop-field farming (wheat, sugar beet, beans, potatoes etc.), the town also has been working on the project of "The Association of the Most Beautiful Villages in Japan" to save the beautiful landscape for next generation. This year, the second Michi-no-Eki of the town, "Shirogane Biruke" has been opened following "Oka-no-kura". To enjoy the charm of Biei, "Blue Pond" and "Patchwork Road" are the popular tourist's spots as well.



■上富良野町 (Kamifurano Town)

上富良野町は北海道のほぼ中央部に位置し、養豚やホップ等の農産物、町花であるラベンダーを中心とした花畑、雄大な十勝岳連峰を有するなど自然景観溢れる町です。町の観光協会では、町内に6つのサイクリングコースを選定しており、その中でも標高1200mまで登る「十勝岳ヒルクライムコース」は、サイクリストの脚力を試す絶好のコースとなっています。

Located in almost center of Hokkaido, Kamifurano Town is blessed with the natural landscape created by the agricultural product, lavender field and magnificent Mt. Tokachidake range. Kamifurano Tourist Association selected 6 cycling courses in town. In particular, Mt. Tokachidake Hill Climb course including the ascent up to 1200m above sea level, is the challenging one for the strength of cyclist's legs.



■中富良野町 (Nakafurano Town)

中富良野町は北海道のほぼ中心にあり、自然が豊かで景色がとてきれいなまちです。町のシンボル「北皇山」の頂上からは、紫が一面に広がるラベンダー畑と緑あふれる田園風景、青々と雄大な十勝岳の山並み、その全てが織りなす美しいコントラストが一望できます。7月中旬に開催の「ラベンダーまつり」では、頭上にかかる火花と満開の花畑をご覧いただけます。

Lying at the center of Hokkaido, abundant nature of Nakafurano Town presents the beautiful scenery to us. From the top of Mt. Hokusei, you can command the view with beautiful contrast created by lavender field and Mt. Tokachidake. At annual "Lavender Festival" held in the middle of July, fireworks sparkles over the lavender fields in full bloom.



■富良野市 (Furano City)

“へそとスキーとワインのまち”富良野市は、農業と観光が基幹産業の田園都市。良質な雪質と大雪山連峰の雄大なロケーションを望む富良野スキー場、ワイン・チーズなどの特産品、ごみのリサイクル、へそ祭り、演劇など、地域資源を生かしたまちづくりに取り組んでいます。中心部の観光スポット「フランマルシェ」「マルシェ2」をはじめ、6月にオープンした「コンシェルジュフラン」は、多くの人でにぎわいます。

Furano City is known as the "heso or navel of Hokkaido as well as the flower and wine town. With agriculture and tourism as the main industries, Furano City has been promoting town development with community resources including ski grounds with good snow and location, local specialties (wine, cheese etc.), garbage-recycling and cultural activities. "Concierge Furano" opened in June, and is one the famous tourist spots in the downtown, as well as "Furano Marche" and "Marche 2".



■南富良野町 (Minamifurano Town)

「太陽と森と湖のまち」をキャッチフレーズに、かなやま湖と空知川の周辺でカヌーやラフティング、キャンプ、氷上ワカサギ釣りなど、オールシーズンでアウトドアが満喫できる町です。映画「鉄道員(ぽっぽや)」のロケ地でもあり、JR幾寅駅周辺にはロケセットが今もそのままの姿で残されています。

"The town of Sun, Forest and Lake", Minamifurano Town has so many outdoor activities to offer throughout the year: canoeing, rafting, camping, ice fishing. The town is also famous as the location for the movie "Poppyo". You can see the filming set kept as it was around JR Iktorata station.

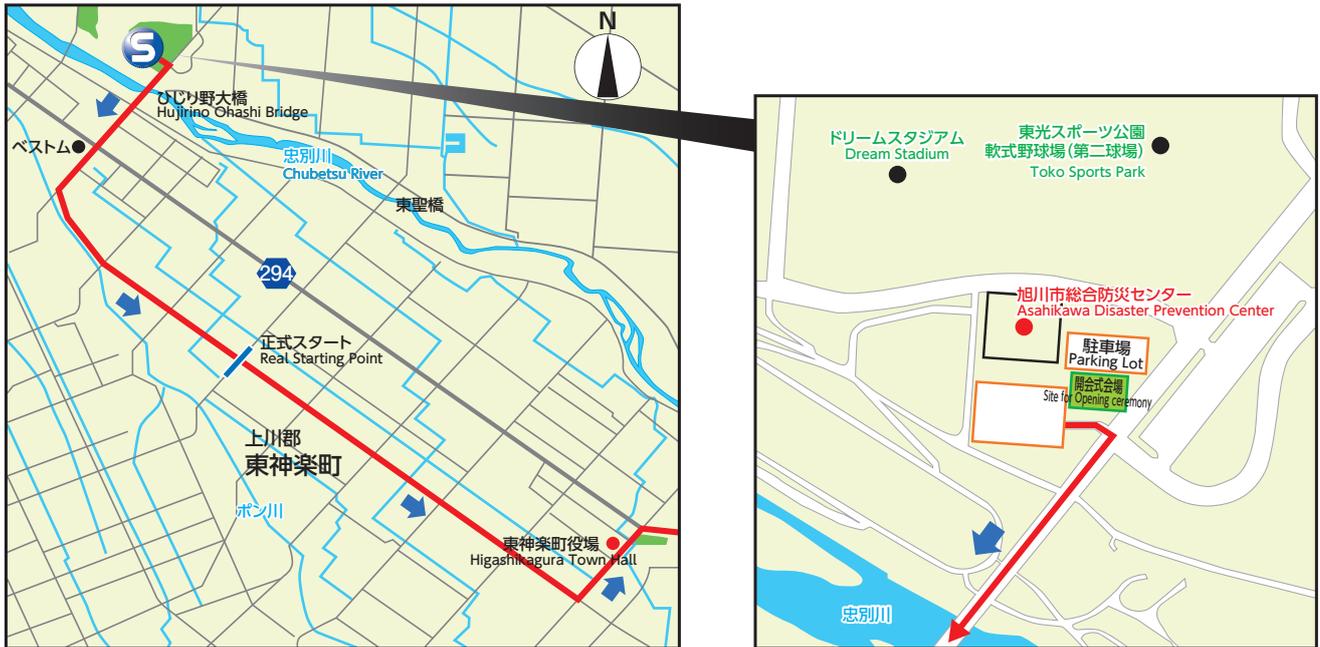


■新得町 (Shintoku Town)

北海道のご真ん中。美しく雄々しい東大雪の山々と日高山脈に抱かれた新得町は素晴らしい四季の風景、旬の食材、温泉、乗馬にラフティングなど、自然と時間を贅沢に使った楽しい遊びでいっぱいです。また、全国でも有数のそば処であり、山麓特有の昼夜間の寒暖差が激しい気候は、そばの「風味」を生み出します。さらに、毎年9月末には「新そば祭り」が開催され、全国各地から2万人が打ちたての新そばに舌鼓を打ちます。

Shintoku Town lies right in the center of Hokkaido surrounded by beautiful Higashi Daisetsu and Hidaka mountains. Known for its soba as specialty, annual Shinsoba Matsuri (festival) held the last Sunday of September attracts over 20000 visitors, where you can enjoy fresh handmade soba.

第1ステージ スタート会場マップ / Stage 1 Start venue Map



第1ステージ フィニッシュ会場マップ / Stage 1 Finish venue Map



SHIMANO BICYCLE COMPONENTS

すべてのサイクリングファンの笑顔を支える — シマノ バイシクルコンポーネンツ

レースに勝つために走る。初めてのサイクリングイベントに挑戦する。仲間たちとロングライドに出かける。

様々なライディングシーンに圧倒的な高性能で応え、すべてのライダーに笑顔をお届けしたい。



DURA-ACE



SHIMANO ULTEGRA



SHIMANO 105



SHIMANO Tiagra



SHIMANO SORA



SHIMANO Claris

DURA-ACE

SHIMANO ULTEGRA

SHIMANO 105

SHIMANO Tiagra

SHIMANO SORA

SHIMANO Claris

レース

スポーツ

ツーリング

妥協なき高性能。揺るぎのないシマノの製品づくりはすべてのコンポーネンツに息づいています。

STAGE 2

9 / 8 Sat.

第2ステージ 174km (ロードレース)
Stage 2: 174km (Road Race)

■第2ステージ日程表 / Schedule

スタート：帯広市 帯広競馬場前<9:30>
フィニッシュ：北見市留辺薬町 旭運動公園前<13:42~14:03>
表彰式：北見市留辺薬町 旭運動公園特設会場<14:30>

Start : Obihiro Racecourse, Obihiro City<9:30>
Finish : Asahi Athletic Park, Kitami City<13:42 ~ 14:03>
Awards ceremony : Asahi Athletic Park, Kitami city <14:30>

September 8 (Sat.) Stage 2 : 174km (Road Race) Obihiro City ~ Kitami City



第2ステージは、帯広市（帯広競馬場前）をスタートし、すずらん大橋を渡って国道241号と併走する道道337号を北上し、十勝平野の平坦地を音更町、士幌町と疾走する高速レースの展開となり、上士幌町7区のホットスポットで中間スプリントを競います。その後は本大会の見どころである山岳地帯に向け、国道273号を北上して東大雪の大自然に抱かれた「ぬかびら源泉郷」を通り、道内の国道で最も標高の高い最大の難所「三国峠」に向かいます。途中、十勝三股で補給を受け三国峠展望台前KOM（標高1,137m地点）で本ステージ最初の山岳ポイントを競います。その後、三国トンネルを抜け、上川町の石狩川最上流部に位置する大雪ダムのほとりを回って国道39号に入り、石北峠KOM（標高1,040m地点）で本ステージ2回目の山岳ポイントを競った後、一気に下って温根湯温泉街と国道39号に併走する農道を疾走して北見市（留辺薬町旭運動公園前）でフィニッシュする174kmのコースです。第2ステージは、大雪山系の標高千メートル超の峠2箇所を越える最も過酷な山岳コースです。

Starting in front of Obihiro Racecourse, the peloton moves towards north after crossing Suzuran Ohashi Bridge. The race is expected to be developed in high speed on relatively flat route continuing towards Hot spot set at 7-ku in Kamishihoro Town. Following Feed Zone set at Tokachi Mitsumata area, the peloton passes by "Nukabira Gensenkyo (hot springs)" and keeps north to the first KOM, Mikuni Pass Observatory (H=1,137m). The second KOM, Sekihoku Pass (H=1,040m) comes after going around Taisetsu Dam. Finish line is set at Asahi Athletic Park in Rubeshibe-cho, Kitami City. This stage of 174km is the most challenging one in this year featuring two passes of Mt. Daisetsuzan range.

交通アクセス (Access)

●9 / 8 (土) 第2ステージ

スタート地点：帯広市 帯広競馬場前



… 「JR帯広駅」 から約2km 約25分



… 「帯広駅12番」バス停から「競馬場前」下車すぐ
… 「とかち帯広空港」バス停から「帯広競馬場前」下車すぐ (乗車時間約50分)



… 「とかち帯広空港」から約28km 約35分

フィニッシュ地点：北見市留辺薬町 旭運動公園前



… 「JR留辺薬駅」から約2km 徒歩約25分



… 「JR北見駅」から約25km 約40分
… 「女満別空港」から約60km 約65分

●September 8 (Sat) Stage 2

Start : Obihiro Racecourse, Obihiro City



… From JR Obihiro sta. ... 25 min. (2 km)



… From Obihiro Eki Bus Terminal ... Get off at "Keibajo-mae"
… From Tokachi Obihiro Airport ... Get off at "Obihiro Keibajo-mae" (50-min. ride)



… From Tokachi Obihiro Airport ... 35min. (28 km)

Finish : Asahi Athletic Park, Rubeshibe-cho, Kitami City



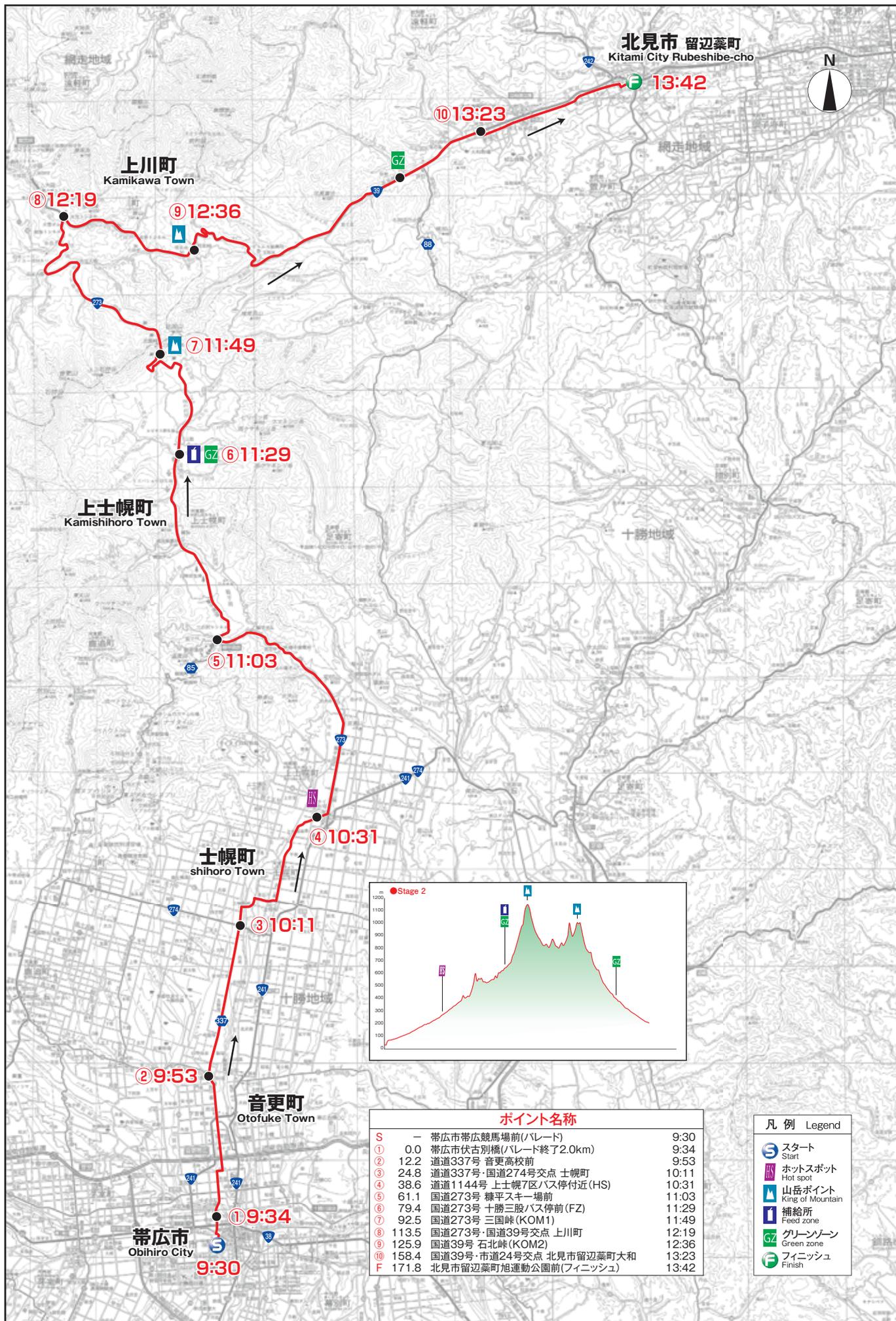
… From JR Rubeshibe sta. ... 25 min. (2 km)



… From JR Kitami sta. ... 40 min. (25 km)
… From Memanbetsu Airport ... 65 min. (60 km)

第2ステージ スタート会場マップ / Stage 2 Start venue Map







■帯広市 (Obihiro City)

帯広市は、日本を代表する食材基地・十勝の中央に位置する人口約17万人の都市です。市街地は、オーストリア・ウィーンをモデルにした広大な森「帯広の森」に囲まれ、多くの緑やきれいな空気、美味しい水など、豊かな自然環境があります。また、世界で唯一、帯広市が開催している「ばんえい競馬」では、サラブレッドより体重が約2倍ある馬たちが、最大1トンの鉄ソリを引き、カとスピードを競う迫力あるレースを展開しています。競馬場の敷地内には、十勝の食などの魅力を楽しむことのできる観光スポット「とかちむら」があります。

Located in the center of Tokachi region, Obihiro City, with population of 170,000, is the representative base of ingredients of Japan. Surrounded by the vast forest "Obihiro no Mori", modeled after Vienna, Austria, its downtown has beautiful natural environment including rich green, clear air, tasty water and so on. The city is also the world's only city that holds "Ban'ei Keiba". The heavy-built horses competes for power and speed, with pulling heavy iron sleighs with jockeys. At the tourist's spot, "Tokachimura" at Obihiro aecourse, you can enjoy local gourmet food.



■音更町 (Otofuke Town)

十勝川のほとりにある十勝川温泉は、北海道遺産にも選定された植物性「モール温泉」を有し、別名「美人の湯」として親しまれています。四季それぞれに訪れる人々にひとときの安らぎを与えてくれます。

Tokachigawa Onsen (hot springs) contains the plant-derived moor hot spring, so called "Bijin no Yu" (hot spring for beauty), which has been designated as Hokkaido Heritage. The visitors can enjoy and appreciate the town's peaceful atmosphere all the year around.



■士幌町 (Shihoro Town)

士幌町は、十勝平野の中央に位置する基幹産業が農業のまちです。特産のじゃがいもで作るポテトチップをはじめ、おいしい「しほろ牛肉」のステーキやソフトクリームなどグルメが充実しています。十勝平野を一望できる標高600メートルの士幌高原に位置し、格安料金で利用できるコテージや、キャンプ場、バーベキューハウス、マウンテンバイクなど多彩な楽しみ方ができます。晴天の夜空の星は一見の価値あり!

Located in the center of Tokachi Plain, the main industry of Shihoro Town is agriculture. There are variety of local gourmet specialty such as Potato chips made with local potatoes, Shihoro beef and Soft serve ice cream. In addition, you can enjoy facilities and activities such as cottage, campsite, BBQ place and mountain biking. Stars in the clear night sky are must-see!



写真：北海道バルーンフェスティバル

■上士幌町 (Kamishihoro Town)

毎年8月、上士幌町で開催している北海道バルーンフェスティバルには、全国各地からバルーンニストが参加し、多くの熱気球が空高く舞い上がる様子を間近で見ることが出来ます。また、町内にある日本一広い公共牧場「ナイタイ高原牧場」では、地元産の食材を使ったメニューや特産品を味わうことができ、温泉地「ぬかびら源泉郷」では、全てのお宿で源泉かけ流しのお湯をたっぷり堪能することができます。どうぞ、上士幌町にお越しください。

Hot air balloon enthusiasts from all over Japan, come to annual Hokkaido Balloon Festival held in August, where you can enjoy beautiful balloon flying in blue sky. Naitai Kogen Farm offers food with fresh local ingredients and you can enjoy Gensen Kakenagashi-style (water comes directly from the hot spring source, not-recycle) hot springs at all accommodations at "Nukabira Onsenkyo".



■上川町 (Kamikawa Town)

スキージャンプ女子の高梨沙羅選手や勢藤優花選手の出身地でもある上川町は、北海道のほぼ中央部、大雪山国立公園の玄関口にあるまちです。特に、年間2百万人が訪れる層雲峡温泉のほか、平成26年にグランドオープンした大雪高原旭ヶ丘には約700種の草花が植栽されたガーデンや世界の三國清三シェフがオーナーを務めるレストラン、ヴィラなどがあり人気を集めている。また、ラーメンや大雪高原牛、よもぎもちなどが有名。

The Town of Kamikawa, which is the hometown of ski jumpers Sara Takanashi and Yuka Seto, is located roughly in the center of Hokkaido and serves as the gateway to Daisetsuzan National Park. In addition to Sounkyo Onsen (hot springs), which attracts over two million visitors a year, Kamikawa has many tourist spots such as the garden at Daisetsu Kogen Asahigaoka, which opened in 2014 and has over 700 species of flowers, as well as a restaurant and villa owned and operated by world-famous chef Kiyomi Mikuni. Ramen, Daisetsu Kogen Beef and yomogi mochi (mugwort rice cakes) are also well known.



TOUR DE HOKKAIDO

第2ステージ フィニッシュ会場マップ / Stage 2 Finish venue Map



+40% Side cut resistance

-4% Drag [40km/h]

-4% Rolling resistance

+7% Grip

205g Weight



Flagship of Clincher Tire

2017 Race Result

Tour de Loire et Cher 第3ステージ [BABYDUMP CYCLING TEAM]

Tour de Loire et Cher 山岳賞 [BABYDUMP CYCLING TEAM]

Tour de Taiwan 第1・4ステージ [Team illuminate]

Tour of Japan 南信州ステージ [NIPPO VINI FANTINI]

ASPITE
PRO

19001H / W0700×24C / 205g
190122 / W0700×26C / 245g

ASPITE
PRO WET

19001J / W0700×24C / 205g

極微細なカット傷までも考慮して開発されたトレッドゴム。タイヤ構造全体をカバーするクロス織リメッシュ。革新的な技術、新素材の投入、飽くなきトライ&エラーを繰り返すことで実現したIRCのレーシングタイヤは、これらの組み合わせによってパンクトラブルのリスクを可能な限り低減した。タフネスとスムーズな走りを両立した[ASPITE PRO / アスピーテ プロ]は、ライダーたちの「軽量タイヤはパンクしやすい」という常識を覆す。

RIDE × COMFORT

www.irc-tire.com



niseko area **iGATE** niseko village
I KEUCHI

iZONE niseko village
I KEUCHI

iGATE AYA NISEKO
I KEUCHI

asahikawa area **iGATE** daisetsu 

iGATE asahikawa 

sapporo area **iGATE** sapporo
I KEUCHI

niseko area
Hotel & Activity Bicycle & Camping Center  CYCLE NISEKO
CAMP NISEKO
STAY NISEKO

niseko area
Exclusive sushi restaurant  WAKATAKE

Check out our website!
www.igate-ikeuchi.com



IKEUCHI GROUP

STAGE 3

9/9 sun.

第3ステージ 177km (ロードレース)
Stage 3: 177km (Road Race)

■第3ステージ日程表 / Schedule

スタート：北見市 温水プール前<9:30>
フィニッシュ：当麻町 とうまスポーツランド<13:45~14:06ころ>
表彰式：当麻町 とうまスポーツランド駐車場特設会場<14:30>
最終表彰式：とうまスポーツランド駐車場特設会場<15:00>

Start : Public Swimming Pool, Kitami City <9:30>
Finish : Tohma Sportsland, Tohma Town <13:45 ~ 14:06>
Awards ceremony : Tohma Sportsland, Tohma Town <14:30>
Overall Awards Ceremony : Tohma Sportsland, Tohma Town <15:00>

September 9 (Sun.) Stage 3 : 177km (Road Race) Kitami City ~ Tohma Town



第3ステージは、北見市(温水プール前)からスタートして、国道39号、道道261号を通過して訓子府町、置戸町の郊外を駆け抜け、北見市留辺薬町から国道242号に入り遠軽町に向います。遠軽町のホットスポットで中間スプリントを競った後、国道333号を西進して白滝ジオパーク前で補給を受けた後、急な坂道を上って北見峠KOM(標高857m地点)で山岳ポイントを競います。北見峠を越えると徐々に下って国道273号に入り、上川町市街の国道39号を右折すると、しばらく平坦基調のコースが続きレースの終盤を迎えます。選手は集団走行となることが予想され、総合優勝を目指すチームがどこで仕掛けるのか注目されることです。最後は当麻町(とうまスポーツランド)でフィニッシュする177kmのコースです。

The last stage of this year, Stage 3 starts in front of Public Swimming Pool in Kitami City, passes by suburban area of Kunneppu Town and Oketo Town, and Rubeshibe-cho of Kitami City towards Hot spot set at Engaru Town. After Feed Zone at Shirataki Geopark, the peloton climbs up to the only KOM of this stage, Kitami Pass (H=857m). As the flat route continues for a while, at the end of the stage, the peloton can save their energy for the final sprint or strategy to win, towards the finish line at Tohma Sportsland in Tohma Town.

交通アクセス (Access)

●9/9 (日) 第3ステージ

スタート地点：北見市 温水プール前

歩行者 ... 「JR北見駅」から約900m 約12分

バス ... 「北見駅」バス停から「東9丁目」下車すぐ

フィニッシュ地点：当麻町 とうまスポーツランド

歩行者 ... 「JR当麻駅」から約2km 徒歩約25分

自動車 ... 「道央自動車道旭川北IC」から約15km 約20分
自動車 ... 「旭川空港」から約23km 約35分

●September 9 (Sun) Stage 3

Start : Public Swimming Pool, Kitami City

歩行者 ... From JR Kitami sta. ... 12 min. (900m)

バス ... From JR Kitami sta. ... Get off at "Higashi 9-chome"

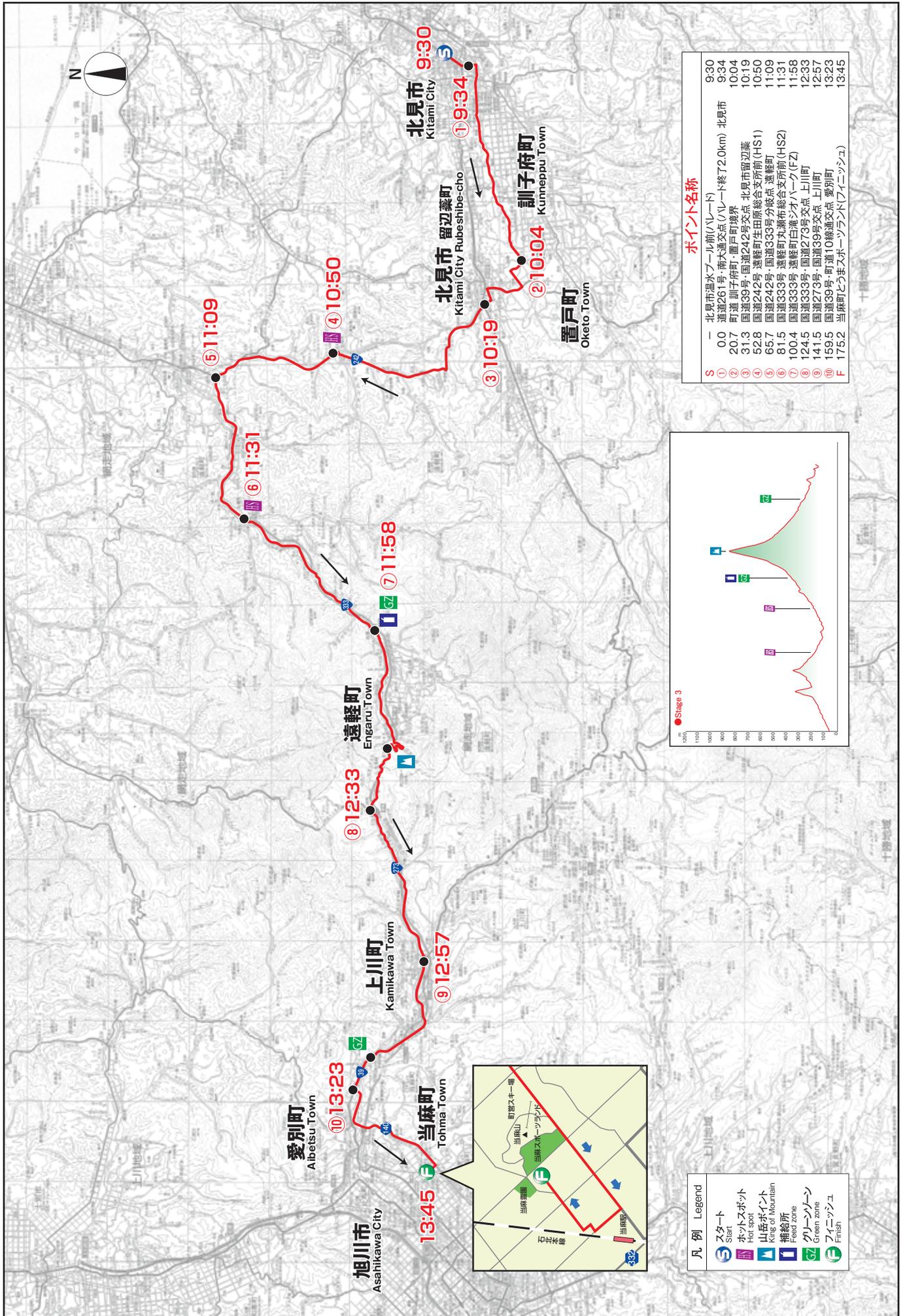
Finish : Tohma Sportsland ... Tohma Town

歩行者 ... From JR Tohma sta. ... 25 min. (2 km)

自動車 ... From Doo Expressway Asahikawa Kita IC ... 20 min. (15 km)
自動車 ... From Asahikawa Airport ... 35 min. (23 km)

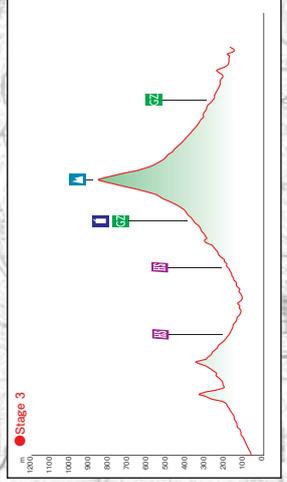
第3ステージ スタート会場マップ / Stage 3 Start venue Map





ポイント名称

S	0.0	北見市湧水プール前(ハレット)	9:30
1	20.7	国道261号・海大通交点(ハレット終了2.0km) 北見市	9:34
2	20.7	町道 訓子府町・置戸町境界	10:04
3	31.3	国道39号・国道242号交点 北見市留辺蘂	10:19
4	52.8	国道242号・遠軽町生田原総合支所前(HS1)	10:50
5	65.7	国道333号分岐点 遠軽町	11:09
6	81.5	国道333号 遠軽町丸瀬布総合支所前(HS2)	11:31
7	100.4	国道333号 遠軽町白濁シオハーク(FZ)	11:58
8	124.5	国道333号・国道273号交点 上川町	12:33
9	141.5	国道273号・国道39号交点 上川町	12:57
10	159.5	国道39号・町道10線通交点 愛別町	13:23
F	175.2	当麻町とうまスポーティングランド(フィニッシュ)	13:45



凡例 Legend

S	スタート	Start
1	ホットスポット	Hot spot
2	山岳ポイント	King of Mountain
3	補給所	Feed zone
4	グリーンゾーン	Green zone
5	フィニッシュ	Finish



■北見市 (Kitami City)

面積が道内一の北見市は、生産量日本一の「玉ねぎ」や日本有数の水揚げを誇る「ホタテ」をはじめとする多彩な地域資源や豊かな自然環境に恵まれています。また、カーリングのまちとして知られ、多数のオリンピック選手を輩出しているほか、冷涼な気候や日照率の高さから、昭和60年からスポーツ合宿の誘致活動を積極的に行っており、ラグビー・陸上・スキーなど毎年多くのアスリートが訪れています。

Kitami city has the largest area in Hokkaido, which is surrounded by variety of resources such as onions and scallops. It is also known as the city of curling and has produced many Olympians. Because of its advantage of cool weather and long sunshine duration, Kitami city has worked hard to attract a training camp since 1985, and many athletes including rugby, track and field, and skiing have visited here.



■訓子府町 (Kunneppu Town)

訓子府町は北海道東北部のオホーツク斜面の内陸寄り、周りを山に囲われた北見盆地に位置しています。盆地特有の内陸性気候で日照率が高く、寒暖の差が大きいのが特徴です。町の基幹産業は農業であり、玉ねぎや馬鈴薯、メロンなど多岐にわたります。多くの生産者が減農薬・有機栽培などに取り組み、環境にも配慮した安心安全な農産物の生産に取り組むなど「訓子府農業」を発展させています。

Kunneppu Town is located in Kitami Basin, surrounded by mountains and lying inland of northeastern Hokkaido, Okhotsk area. The town has inland climate with long sunshine duration and significant difference in temperature between day and night. The main industry of the town is agriculture: onions, potatoes, melons and so on. Many farmers are working on environmentally friendly organic cultivation with less fertilizer to promote "Kunneppu agriculture".



■置戸町 (Oketo Town)

置戸町(おけとちょう)は、オホーツクの南西部に位置し、周囲を山に囲まれた自然豊かな町です。町全体の8割以上の面積を森林が占めており、木を用いて製作する特産品のオケクラフトや夏の名物イベント「人間ばんば大会」では、大きな丸太を馬さながらに人間が曳いて競い合うなど、町は木に深いつながりを持っています。こだわりの食材を使って調理し、オケクラフトの食器で食べる町の学校給食は、全国的にも有名です。

Located in southwestern Okhotsk and surrounded by mountains, Oketo Town is blessed with abundant nature. As over 80 % of the town consists of the forest, we can see that wood is strongly connected with the life of the town. Oke Craft is local specialty made with wood and at summer famous event, Ningen Bamba Race, people compete with each other with logs being pulled. School lunch with finely selected ingredient served in Oke Craft is nationwide famous.



■遠軽町 (Engaru Town)

遠軽町は、北海道の北東部、オホーツク地域のほぼ中央に位置する人口約2万人のまちです。町の面積は、全国の町村で2番目に広く、その9割近くを森林が占めています。北海道の屋根・大雪山系を源にオホーツク海に注ぐ湧別川が貫流し、森林と清流に恵まれた自然豊かな町です。町の名所として北海道自然100選に選ばれた高さ78メートルの瞰望(かんぼう)岩は、アイヌ語で「インカルシ(見晴らしのよい所)」と呼ばれたことから、町名の由来となりました。また、この瞰望岩を含む「太陽の丘えんがる公園」には、日本最大級のコスモス園があり、秋には1千万本のコスモスが咲き誇ります。レース最終日の9月9日(日)にはコスモスフェスタが開催されます。

Lying nearly in the center of Okhotsk region, Engaru Town has population of 20,000. The town is blessed with rich forest covering approximately 90 % of the town and freshwater of Yubetsu River flows through the town. Ganbo Iwa is designated as Hokkaido 100 Best Natural Landscape, "Ganbo Iwa", called "Inkarushi (meaning: nice viewpoint)" originated in the name of the town. "Tayo-no-Oka Engaru Park" is one of the largest cosmos gardens in Japan, having the entire hill filled with some 10 million cosmoses. Cosmos Festa will be held on Sunday, September 9, the last day of Tour de Hokkaido.



■愛別町 (Aibetsu Town)

愛別町は、北海道内有数のきのこの産地です。町内では、5種類のきのこを生産し、様々なきのこの料理が味わえます。また、新鮮なきのこは、香りや食感が格別ですので、ぜひ町内でお買い求めください。また、ツール・ド・北海道2018開催中の9月9日(日)には、愛別町最大のイベントである第32回あいべつ「きのこの里」フェスティバル、平成31年3月3日(日)には、冬のイベントである第35回愛別町雪中ソフトボール大会が開催されます。「きのこの里 愛別町」へ是非一度お越しください。

Aibetsu Town is recognized as the leading mushroom producer in Hokkaido. Five kinds of mushroom produced in Town can be varieties of dishes. You can see the difference when you eat fresh mushroom. In autumn, the town holds annual Kinoko no Sato (Mushroom Town) festival on the second Sunday in September (September 9 this year during Tour de Hokkaido). As winter event, there is softball tournament in snow in March. Please come to visit "Kinoko no Sato Aibetsu Town".



■当麻町 (Tohma Town)

全道トップクラスの良質米が栽培される米どころ当麻町には、夏バテ日本一の評価を受ける「大雪の薔薇」、高級ブランドスイカ「でんすけすいか」など、全道、全国クラスの特産品がそろう。1億5000万年の悠久の時間が造りだした自然の神秘、北海道指定天然記念物「当麻鐘乳洞」は観光客でにぎわいます。温度9℃前後に保たれる洞窟内の特徴をいかし、冬期間鎖期間に熟成させる純米大吟醸酒「龍乃泉」は芳醇でまろやかな味わい。大地の力が宿る特別な日本酒です。

As fertile rice-growing area, Tohma also has lineup of famous local products with nationwide quality such as Rice, Rose "Taisetsu no Bara" and Watermelon "Densuke Suika". A designated natural treasure of Hokkaido, formed 150 million years ago, Toma Limestone Cave has been busy with the tourists. Local sake "Ryu no Izumi" is aged in this cave during winter.

第3ステージ フィニッシュ会場マップ / Stage 3 Finish venue Map



★ 乾杯をもっとおいしく。
SAPPORO

ONLY
北海道!

17年※
連続売上
アップ!

これが、
北海道の
ビール。
この地の気候や
食材に合わせて
つくったビールは、
北海道で飲むと
格別にうまい。



CLASSIC

※2001年から2017年まで、17年連続売上前年比100%超えを達成。(当社調べ)



ストップ! 未成年飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。
お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。

サッポロビール株式会社
www.sapporobeer.jp

JTB

感動のそばに、いつも。

株式会社 JTB

グループ・団体旅行・イベントのご相談お申込みは、お近くのJTBへ。

北海道事業部

〒060-0001

札幌市中央区北1条西6丁目1-2アーバンネット札幌ビル8F

TEL:011-271-7024

交通規制のあらまし

The outline of the traffic restriction

ツール・ド・北海道2018開催期間中の9月7日(金)から9月9日(日)までの間、国道・道道・市町村道等において、次のとおり交通規制が行われます。

皆様のご協力をお願いします。

1. 競技コース周辺道路は、混雑が予想されますので車両で通行する際には十分注意してください。

Please be careful when driving roads around the race course since the congestion is anticipated due to the traffic restriction.

2. 競技車列に順行する車両は、後方を追従して走行できますが、車列の追い越しや割り込みはできませんので注意してください。

During the race, passing or interrupting the race caravan is forbidden; however, driving following the rear of the caravan is permitted.

3. 競技車列に対向する車両は、支障がない限り通行できますが、競技自転車が接近しているときは、減速するなど競技の安全にご協力下さい。その際、右折、横断、転回はできませんので注意してください。

Although driving the oncoming lane is possible, for securing the safety of the race, we ask for your cooperation to slow down when riders are coming close. In this case, right turn, crossing the road and turning around are also forbidden.

4. 競技自転車がトンネルや急カーブ等の道路を走行する場合は、危険防止のため、その手前で対向車両に一時的に停止（停止時間は、最小10分間、最大60～150分間程度）をお願いすることがあります。

We may ask you to pause in front of the tunnels or on the tight turn, to assure the safety. (Period of time depends on the race situation.)

5. 規制時間は、競技状況等によって変更になる場合がありますのでご了承願います。

Please note that the time schedule is subject to change depending on the race situation.

お問い合わせ

(公財) ツール・ド・北海道協会 ☎ 011-222-5922



TOUR DE HOKKAIDO

歴代
チャンピオン



1987 第1回
高橋 松吉
TAKAHASHI, Matsuyoshi
ナカガワ F E T オークレー



1988 第2回
橋 詰 一 也
HASHIZUME, Kazuya
ボスコ



1989 第3回
大石 一 夫
OISHI, Kazuo
ボスコ



1990 第4回
今 中 大 介
IMANAKA, Daisuke
シマノ



1991 第5回
今 中 大 介
IMANAKA, Daisuke
シマノ



1992 第6回
スプラット スティーブン
SPRATT, Stephen
アイルランド



1993 第7回
今 中 大 介
IMANAKA, Daisuke
シマノ



1994 第8回
大 野 直 志
ONO, Naoshi
チーム F E T ラバネロ



1995 第9回
グイドッティ アンドレア
GUIDOTTI, Andrea
日本舗道



1996 第10回
ウォルバーク エリック
WOHLBERG, Eric
カナダ



1997 第11回
コレオーニ ミケーレ
COLLEONI, Michele
アコムラバネロ



1998 第12回
行 成 秀 人
YUKINARI, Hideto
ミヤタスバル



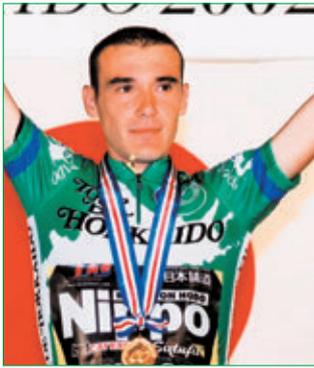
1999 第13回
橋 川 健
HASHIKAWA, Ken
プリヂェストン・アンカー



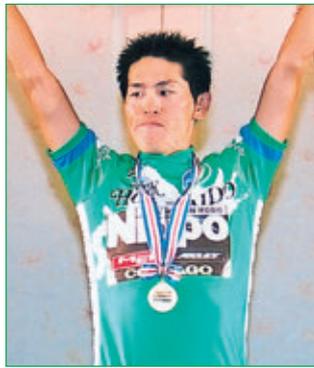
2000 第14回
ウォルバーク エリック
WOHLBERG, Eric
カナダ



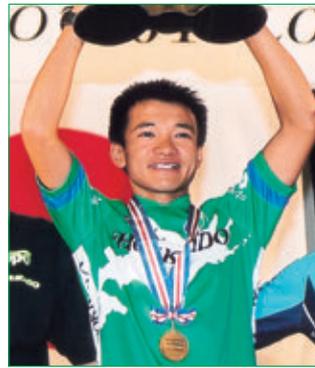
2001 第15回
マッキャン デヴィッド
McCANN, David
アイルランド



2002 第16回
モーリ シモーネ
 MORI, Simone
 日本舗道



2003 第17回
広瀬 敏
 HIROSE, Satoshi
 日本舗道



2004 第18回
ワン カンポ
 WONG, Kam-po
 スミタラバネロ



2005 第19回
ラッティ エディー
 RATTI, Eddy
 チームNIPPPO



2006 第20回
西谷 泰治
 NISHITANI, Taiji
 愛三工業



2007 第21回
ヴェルネル ヘンリ
 WERNER, Henri
 ドイツ



2008 第22回
宮澤 崇史
 MIYAZAWA, Takashi
 梅丹本舗-GDR



2009 第23回
宮澤 崇史
 MIYAZAWA, Takashi
 梅丹本舗 - GDR



2010 第24回
清水 都貴
 SHIMIZU, Miyataka
 チームブリヂストンアンカー



2011 第25回
ルビアーノチャヴェスミゲールアンジェル
 RUBIANO CHAVEZ, Miguel Angel
 ダンジェロ&アンテヌッチーNIPPO



2012 第26回
リケーゼ マッシミリアーノ
 RICHEZE, Maximiliano
 チーム NIPPO



2013 第27回
ルバトマ
 LEBAS, Thomas
 ブリヂストンアンカーサイクリングチーム



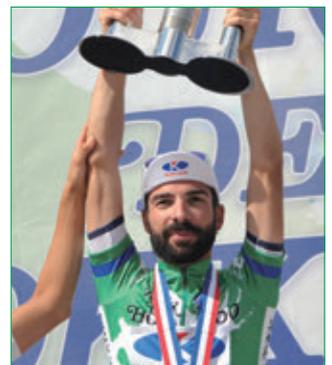
2014 第28回
プリート ジョシュア
 PRETE, Joshua
 チームバジェットフォークリフト



2015 第29回
スタキオティ リカルド
 STACCHIOTI, Riccardo
 NIPPO- ヴィーニファンティーニ



2016 第30回
増田 成幸
 MASUDA, Nariyuki
 宇都宮ブリツェン



2017 第31回
ガルシア マルコス
 GARCIA, Marcos
 キナンサイクリングチーム

THULE
SWEDEN



New

〉ホイールでサイクルを固定するユニバーサルサイクルキャリア

Thule Upride 599

¥47,520 (消費税8%込)

- フレームでなくフロントホイールでサイクルを固定
 - フレームを傷つけずに確実な積載が可能
 - カーボンフレーム自転車に対応
 - 外径20-29インチ、幅3インチまでのタイヤに適合
(別売りファットバイクアダプターを装着すれば5インチのタイヤまで積載が可能)
 - アームを運転席側・助手席側に容易に入れ替え可能
 - 後部にフイヤーロックを内蔵
- ※スクエアバーへの装着には別途アダプター8B9-B ¥2,160 (消費税8%込) が必要です。
※泥除けのついたサイクルは積載できません。

Bring your life
thule.com

<ご注意>
※本掲載の商品内容・仕様に関しましては2018年7月現在のものであり、予告なく変更する場合があります。
※意匠・仕様等は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※本体価格は、希望小売価格(税抜)で取付工賃等は含まれません。
※Upride599の装着にはTHULEベースキャリアが必要です。取扱店店頭の手帳別適応表をご確認の上併せてお求めください。

5 years warranty
Jahre Garantie
ans de garantie
años de garantía

スーリー製品は安心の5年保証
お求めは全国有名カー用品店・通信販売店等で



スーリー輸入代理店
株式会社 阿部商会
東京都千代田区神田美土代町3番地

0800-100-4182
www.abeshokai.co.jp

◆ブログ掲載中!◆ http://abeshokai.jp/blog/thule_new/

THULEルーフキャリアここだけの話

検索



クルマでしか見えない景色がある



ニッポンレンタカー北海道株式会社 | 〒003-0001 札幌市白石区東札幌1条1丁目1番8号 じょうてつビル1階 | <https://www.nrgroup-global.com/hk/>
TEL 011-805-0919 FAX 011-805-0920

ツール・ド・北海道2018 役員名簿 Officials of Tour de Hokkaido 2018

<p>● 総裁</p> <p>綿貫 民輔 公益財団法人 ツール・ド・北海道協会会長</p>	<p>● President</p> <p>WATANUKI Tamisuke President of Tour de Hokkaido Association</p>	<p>● 大会長</p> <p>山本 隆幸 公益財団法人 ツール・ド・北海道協会理事長</p>	<p>● Chairman of Tour de Hokkaido</p> <p>YAMAMOTO Takayuki Head Director of Tour de Hokkaido Association</p>
<p>● 副総裁</p> <p>高橋 はるみ 北海道知事[協会顧問]</p> <p>秋元 克広 札幌市長[協会顧問]</p> <p>西原 巧 公益財団法人 ツール・ド・北海道協会顧問</p> <p>眞田 眞 公益財団法人 ツール・ド・北海道協会顧問</p>	<p>● Vice Presidents</p> <p>TAKAHASHI Harumi Governor of Hokkaido (Advisor to the Association)</p> <p>AKIMOTO Katsuhiko Mayor of Sapporo (Advisor to the Association)</p> <p>NISHIHARA Takumi Advisor to Tour de Hokkaido Association</p> <p>SANADA Makoto Advisor to Tour de Hokkaido Association</p>	<p>● 副大会長</p> <p>橋本 聖子 公益財団法人 日本自転車競技連盟会長</p> <p>笹部 俊雄 公益財団法人JKA会長</p>	<p>● Vice Chairmen of Tour de Hokkaido</p> <p>HASHIMOTO Seiko President of Japan Cycling Federation</p> <p>SASABE Toshio President of JKA</p>
		<p>● 大会顧問</p> <p>水島 徹治 国土交通省北海道開発局長</p> <p>牧野 剛 経済産業省 北海道経済産業局長</p>	<p>● Counselors for Tour de Hokkaido</p> <p>MIZUSHIMA Tetsuji Director General, Hokkaido Regional Development Bureau</p> <p>MAKINO Tsuyoshi Director General, Hokkaido Bureau of Economy, Trade and Industry</p>

大会参与(五十音順)

池田 明聰 IKEDA Akiyoshi	池田明聰公認会計士事務所公認会計士	高井 修 TAKAI Osamu	北海道経済連合会副会長
池部 彰 IKEBE Akira	南富良野町長	高松 泰 TAKAMATSU Yasushi	公益財団法人ツール・ド・北海道協会常務理事
石川 栄男 ISHIKAWA Sakao	株式会社NIPPO北海道支店執行役員支店長	竹中 貢 TAKENAKA Mitsugi	上士幌町長
石橋 弘次 ISHIBASHI Hirotsugu	公益財団法人北海道体育協会副会長	田中 栄作 TANAKA Eisaku	一般財団法人日本自転車普及協会常務理事
井上 久男 INOUE Hisao	置戸町長	棚野 孝夫 TANANO Takao	北海道町村会会長(白糠町長)
小川 魁 OGAWA Isao	北海道サイクリング協会副会長	辻 信三 TSUJI Shinzo	医療法人社団 東桑会 札幌北クニック情報管理顧問
小川 敏雄 OGAWA Toshio	社会福祉法人扶桑苑理事	辻 直孝 TSUJI Naotaka	北見市長
小野 信次 ONO Shinji	音更町長	恒松 浩 TSUNEMATSU Hiroshi	公益財団法人ツール・ド・北海道協会理事
樺澤 孝人 KABASAWA Takato	国土交通省北海道開発局旭川開発建設部長	西川 将人 NISHIKAWA Masahito	旭川市長
菊川 健一 KIKUKAWA Kenichi	当麻町長	浜田 哲 HAMADA Satoshi	美瑛町長
菊池 一春 KIKUCHI Kazuharu	訓子府町長	浜田 正利 HAMADA Masatoshi	新得町長
菊谷 秀吉 KIKUYA Hideyoshi	北海道市長会会長(伊達市長)	林 辰夫 HAYASHI Tatsuo	公益財団法人日本自転車競技連盟副会長
木佐 剛三 KISA Takezo	中富良野町長	日浅 尚子 HIASA Naoko	株式会社道新文化センター代表取締役社長
北 猛俊 KITA Taketoshi	富良野市長	福島 厚 FUKUSHIMA Atsushi	公益財団法人JKA執行理事
小磯 修二 KOISO Shuji	前釧路公立大学学長	細井 俊宏 HOSOI Toshihiro	国土交通省北海道開発局帯広開発建設部長
小林 康雄 KOBAYASHI Yasuo	士幌町長	松岡 市郎 MATSUOKA Ichiro	東川町長
斉藤 智徳 SAITO Tomonori	北武コンサルタント株式会社相談役	向山 富夫 MUKAIYAMA Toshio	上富良野町長
坂 敏弘 SAKA Toshihiro	一般社団法人北海道建設業協会副会長	安江 哲 YASUE Satoshi	株式会社北未来技研顧問
佐々木 修一 SASAKI Shuichi	遠軽町長	山本 進 YAMAMOTO Susumu	東神楽町長
佐藤 芳治 SATO Yoshiji	上川町長	米沢 則寿 YONEZAWA Norihisa	帯広市長
渡邊 政義 WATANABE Masayoshi	国土交通省北海道開発局網走開発建設部長	渡辺 一郎 WATANABE Ichiro	一般社団法人北海道舗装事業協会会長
住吉 徳文 SUMIYOSHI Norifumi	サッポロビール株式会社北海道本社副代表	渡邊 実 WATANABE Minoru	公益財団法人JKA専務理事
前佛 秀幸 ZENBUTSU Hideyuki	愛別町長		

ツール・ド・北海道2018 実行委員会名簿 Secretaries of the Exective Committee of Tour de Hokkaido 2018

委員長 森野 和泰 MORINO Kazuyasu 公益財団法人北海道体育協会副会長
 副委員長 穴田 勝彦 ANADA Katsuhiko 公益財団法人日本自転車競技連盟参与
 副委員長 小野 盛秀 ONO Morihide 北海道自転車競技連盟会長
 副委員長 高松 泰 TAKAMATSU Yasushi 公益財団法人ツール・ド・北海道協会常務理事

所 属	委 員	幹 事
北海道自転車軽自動車商業協同組合	理事長 小野 盛秀 ONO Morihide	副理事長 高橋 嘉弘 TAKAHASHI Yoshihiro 副理事長 服部 好泰 HATTORI Yoshiyasu
北海道自転車協会	会 長 村山 文彦 MURAYAMA Fumihiko	
北海道サイクリング協会	副会長 小川 魁 OGAWA Isao	理事長 村上 昌美 MURAKAMI Masami
特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会	代表理事 丸山 光徳 MARUYAMA Mitsunori	理事 池内 勝治 IKEUCHI Katsuharu
一般財団法人北海道交通安全協会	専務理事 北森 繁 KITAMORI Shigeru	常務理事 新谷 恵司 SHINYA Keiji
公益財団法人北海道体育協会	専務理事 坂本 和彦 SAKAMOTO Kazuhiko	
公益社団法人北海道観光振興機構	専務理事 片山 知洋 KATAYAMA Tomohiro	
北海道開発局	建設部長 倉内 公嘉 KURAUCHI Kimiyoshi 開発監理部次長 平野 令緒 HIRANO Reo	開発調整課長 竹内 正信 TAKEUCHI Masanobu 開発調整課長補佐 新妻 憲嗣 NIIZUMA Toshitsugu 建設行政課長 新井 龍也 ARAI Tatsuya 河川計画課長 石川 伸 ISHIKAWA Shin 道路計画課長 坂場 武彦 BANBA Takehiko 道路建設課長 桑島 正樹 KUWAJIMA Masaki 道路維持課長 遠藤 達哉 ENDO Tatsuya 港湾計画課長 松良 精三 MATSURA Seizo
旭川開発建設部		次長（総務担当） 佐々木 齋 SASAKI Hitoshi 次長（河川・道路担当） 山田 拓也 YAMADA Takuya
帯広開発建設部		次長（総務担当） 大屋 充史 OYA Atsushi 次長（河川・道路担当） 吉田 晃啓 YOSHIDA Akihiro
網走開発建設部		次長（総務担当） 村越 慶次 MURAKOSHI Keiji 次長（河川・道路担当） 高橋 一浩 TAKAHASHI Kazuhiro
北海道	環境生活部長 渡辺 明彦 WATANABE Akihiko	環境生活部スポーツ振興課長 石丸 幸夫 ISHIMARU Yukio 建設部 建設政策局 京田 隆一 KYODA Ryuichi 維持管理防災課維持担当課長 建設部 建設政策局 鳴海 正一 NARUMI Shoichi 維持管理防災課管理担当課長 土木局道路課長 信太 一人 NOBUTA Kazuhito
上川総合振興局		副局長 今井 敏文 IMAI Toshifumi 旭川建設管理部地域調整課長 劔持 浩高 KENMOTSU Hirotaka
十勝総合振興局		副局長 坂部 浩明 SAKABE Hiroaki 帯広建設管理部地域調整課長 橋本 雄太 HASHIMOTO Yuta
オホーツク総合振興局		副局長 神野 泰博 JINNO Yasuhiro 網走建設管理部地域調整課長 米山 晋司 YONEYAMA Shinji
旭川市	観光スポーツ交流部長 熊谷 好規 KUMAGAI Yoshinori	観光スポーツ交流部次長 三宅 智彦 MIYAKE Tomohiko
帯広市	スポーツ振興室長 葛西 克也 KASAI Katsuya	スポーツ振興室主幹 河瀬 祐二 KAWASE Yuji
北見市	社会教育部長 佐々木 賢一 SASAKI Kenichi	スポーツ課長 三上 剛 MIKAMI Tsuyoshi
富良野市	副市長 石井 隆 ISHII Takashi	市民協働課長 安西 義弘 ANZAI Yoshihiro
東神楽町	副町長 西山 満 NISHIYAMA Mitsuru	地域の元気づくり課長 神田 昌作 KANDA Shosaku
当麻町	副町長 遠藤 憲彦 ENDO Norihiko	教育課長 関崎 寿子 KANZAKI Toshiko
愛別町	副町長 石田 光幸 ISHIDA Mitsuyuki	教育次長 谷田 道明 TANIDA Michiaki
上川町	副町長 谷 博文 TANI Hirofumi	教育長 中野 俊和 NAKANO Toshikazu
東川町	教育長 林 万里 HAYASHI Kazusato	生涯学習推進課長 佐々木 貴行 SASAKI Takayuki
美瑛町	副町長 塚田 聡仁 TSUKADA Toshihito	経済文化振興課長 今野 聖貴 KONNO Kiyotaka
上富良野町	教育長 服部 久和 HATTORI Hisakazu	教育振興課長 及川 光一 OIKAWA Koichi
中富良野町	教育長 中島 光明 NAKAJIMA Mitsuki	教育課長 牛嶋 雅文 USHIJIMA Masafumi
南富良野町	副町長 高橋 秀樹 TAKAHASHI Hideki	総務課長 定塚 正文 JOZUKA Masafumi
訓子府町	教育長 林 秀貴 HAYASHI Hideki	社会教育課長 高橋 治 TAKAHASHI Osamu
置戸町	教育長 平野 毅 HIRANO Takeshi	社会教育課長 藁島 賢治 MINOSHIMA Kenji
遠軽町	副町長 厂原 収 GANBARA Osamu	教育長 河原 英男 KAWAHARA Hideo
音更町	副町長 高木 収 TAKAGI Osamu	スポーツ課長 吉田 寛 YOSHIDA Hiroshi
士幌町	副町長 柴田 敏之 SHIBATA Toshiyuki	総務企画課 地方創世担当課長 石垣 好典 ISHIGAKI Yoshinori
上士幌町	副町長 千葉 与四郎 CHIBA Yoshiro	生涯学習課長 須田 修 SUDA Osamu
新得町	副町長 金田 将 KANETA Susumu	産業課長 石塚 将照 ISHIZUKA Masaaki

～ 私たちはツール・ド・北海道を応援しています ～

ツール・ド・北海道2018 賛助会員等名簿

●法人

一般社団法人 網走建設業協会	岸本産業 株式会社	ツバメ工業 株式会社	株式会社 北海道新聞社
小樽建設協会	株式会社 北一組	株式会社 DSP	北海道道路エンジニアリング 株式会社
一般社団法人 寒地港湾技術研究センター	北日本港湾コンサルタント 株式会社	株式会社 ティーネットジャパン 北海道支店	株式会社 北海道丸和ロジスティクス
札幌自転車競技連盟	協和八光建設 株式会社	鉄建建設 株式会社 札幌支店	北海道ロードメンテナンス 株式会社
一般社団法人 函館建設業協会	草野作工 株式会社	電通設備 株式会社	株式会社 堀口組
一般社団法人 北海道開発技術センター	栗林建設 株式会社	東海建設 株式会社	堀松建設工業 株式会社
一般財団法人 北海道開発協会	ケイセイマサキ建設 株式会社	道興建設 株式会社	幌村建設 株式会社
一般財団法人 北海道河川財団	光栄建設工業 株式会社	東光舗道 株式会社	前田建設工業 株式会社 北海道支店
北海道自転車軽自動車商業協同組合	株式会社 構研エンジニアリング	株式会社 東洋実業	前田道路 株式会社 北海道支店
一般社団法人 北海道商工会議所連合会	株式会社 小金澤組	道路建設 株式会社	丸建道路 株式会社 札幌支店
一般社団法人 北海道測量設計業協会	小針土建 株式会社	道路工業 株式会社	丸駒シビルサービス 株式会社
一般財団法人 北海道道路管理技術センター	こぶし建設 株式会社	東亜道路工業 株式会社 北海道支店	丸彦渡辺建設 株式会社
一般社団法人 北海道土地改良建設協会	有限会社 サイクル小野サッポロ	株式会社ドーコン	三井住建道路 株式会社 北海道支店
一般社団法人 北海道土地改良設計技術協会	斉藤井出建設 株式会社	徳井建設工業 株式会社	宮坂建設工業 株式会社
公益社団法人 北海道トラック協会	坂野建設 株式会社	戸田建設 株式会社 札幌支店	宮永建設 株式会社
稚内建設協会	株式会社 佐々木建設	戸田道路 株式会社 札幌営業所	株式会社 宮原組
	札幌工業 株式会社	飛鳥建設 株式会社 札幌支店	宮脇土建 株式会社
	札幌建設運送 株式会社	株式会社ドボク管理	村井建設 株式会社
葵建設 株式会社	沢田建設 株式会社	株式会社 土木技術コンサルタント	株式会社 盛永組
赤川建設興業 株式会社	三協建設 株式会社	中道リース 株式会社	株式会社 森本商会
阿寒共立土建 株式会社	三共電気工業 株式会社	株式会社 中山組	株式会社 山内組
秋津道路 株式会社	株式会社 サン広告社	西江建設 株式会社	株式会社 山口工業所
旭イノベックス 株式会社	清水建設 株式会社 北海道支店	西松建設 株式会社 札幌支店	山高建設工業 株式会社
株式会社 アサヒ建設コンサルタント	白崎建設 株式会社	株式会社 日栄建設	株式会社 山田組
あすなろ道路 株式会社	株式会社 シン技術コンサル	日成建設 株式会社	株式会社 山伏パコム
荒井建設 株式会社	新太平洋建設 株式会社	日測技研 株式会社	山本電子工業株式会社
株式会社 生駒組	新島工業 株式会社	日本データサービス 株式会社	渡辺建設工業 株式会社
勇建設 株式会社	新谷建設 株式会社	日本工営 株式会社 札幌支店	
株式会社 石山組	杉原建設 株式会社	日本道路 株式会社 北海道支店	●個人
株式会社 伊豆倉組	世紀東急工業 株式会社 北海道支店	日本ファブテック 株式会社 札幌営業所	阿部 芳昭
株式会社 磯田組	株式会社 総北海 札幌支店	株式会社 野田組	牛島 元嗣
株式会社 伊藤組	大成ロテック 株式会社 北海道支店	パシフィックコンサルタンツ 株式会社	梅田 勝
伊藤組土建 株式会社	大地コンサルタント 株式会社	株式会社 橋本川島コーポレーション	大野裕一郎
伊藤工業 株式会社	大同舗道 株式会社	花本建設 株式会社	尾埜 森己
岩倉建設 株式会社	大北土建工業 株式会社	パブリックコンサルタント 株式会社	勝見 洋一
岩田地崎建設 株式会社	株式会社 ダイヤコンサルタント北海道支店	東日本道路 株式会社	小塚 耕平
植村建設 株式会社	株式会社 高組	日吉建設 株式会社	古藤 敏之
株式会社 エーティック	高玉建設工業 株式会社	株式会社 廣野組	鈴木 秀之
ENEOSトレーディング 株式会社	タカハタ建設 株式会社	不二建設 株式会社	清崎 晶雄
株式会社 園建	株式会社 田中組	富士新舗道 株式会社	高松 泰
及川産業 株式会社	株式会社 田中工業	株式会社 藤田組	田下 啓一
大江建設 株式会社	株式会社 谷脇組	藤原工業 株式会社	恒松 浩
株式会社 大林組 札幌支店	株式会社 田端本堂カンパニー	株式会社 不動テトラ 北海道支店	東岱 庄一
大林道路 株式会社 北海道支店	株式会社 玉川組	萌州建設 株式会社	巻 登
株式会社 ガイアートT・K 北海道支店	株式会社 田宮設計事務所	北央道路工業 株式会社	湊 雄一
株式会社 カンディハウス	地崎道路 株式会社 北海道支店	北斗徽章 株式会社	山本 隆幸
株式会社 開発工営社	中央コンサルタンツ 株式会社 札幌支店	北土建設 株式会社	遊佐 義彦
開発工建 株式会社	中大実業株式会社	北都道路 株式会社	渡辺 総悦
鹿島道路 株式会社 北海道支店	株式会社 通電技術	株式会社 北開水工コンサルタント	和田 俊博
機械開発北旺 株式会社	辻谷建設 株式会社	株式会社 北海道近代設計	

Wedge co.,ltd.

IP無線が創る 確かなつながり。

トランシーバーや無線機の販売、イベント運営や地域行事の際の無線機レンタルなど、お気軽にご相談ください。

ウェッジ株式会社 TEL : 0120-248-144 <http://www.aaa-wedge.co.jp>

本社・京都営業所

東京支店

大阪支店

名古屋支店

福岡支店

仙台支店

札幌支店

広島営業所



サードパーティ・ロジスティクス(3PL)事業
運輸事業「桃太郎便」
一般家電 宅配・取付設置・工事



桃太郎便

AZ-COM
MOMOTARO-3PL-SYSTEM

サービスの基本を大切にする

株式会社 **北海道丸和ロジスティクス**

〒061-3244 北海道石狩市新港南2丁目718番地2
TEL 0133-64-7981 FAX 0133-64-7983

Natural Mineral Water

京極の名水

日本名水百選

京極製氷
Secoma
 京極製氷株式会社
 〒044-0131 北海道虻田郡京極町字川西40番4

TOUR  HOKKAIDO 2018



TOUR DE HOKKAIDO

お問い合わせ先 / For further information
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 第二道通ビル 5階
Daini Dotsu Bldg. 5F, North 5, West 6, Chuo-ku, Sapporo, 060-0005, Japan
公益財団法人ツールド・北海道協会 / Tour de Hokkaido Association
電話 (011) 222-5922 ファックス (011) 232-4604
Tel+81-11-222-5922 Fax+81-11-232-4604
<http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>
E-mail tourde-h@spice.ocn.ne.jp
E-mail tourdech@jasmine.ocn.ne.jp (for English)

公益財団法人日本自転車競技連盟 / JAPAN CYCLING FEDERATION
電話 (03) 6277-2690 ファックス (03) 6277-2691
Tel+81-3-6277-2690 Fax+81-3-6277-2691
<http://www.jcf.or.jp>
E-mail cycling@japan-sports.or.jp

UNION CYCLISTE INTERNATIONALE (国際自転車競技連合)
TEL+41-24-468-5811 FAX+41-24-468-5812

ROYCE'  **SUBARU**